SyncMaster 730XT/930XT

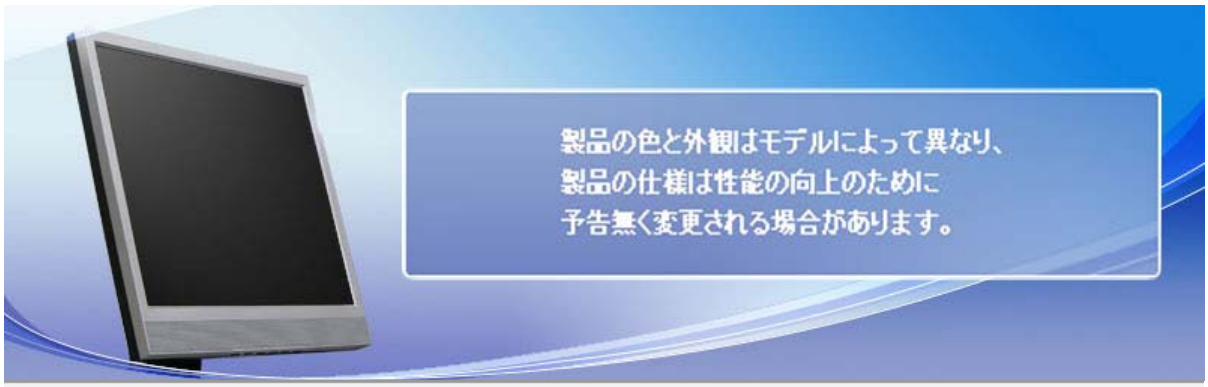
インストールドライバ

Windows

インストールプログラム

Natural Color

MagicTune™



安全面での予防措置

記号

安全を確保し損害を防止するために、これらの安全使用上の注意に従う必要があります。
指示をよく読んで、正しい方法で製品を使用します。

警告/注意

死亡または傷害事故の原因となることがあります。

傷害事故または物的損害の原因となることがあります。

表示例

禁止

必ずよく読んで理解していただくことが重要です

分解しないでください

コンセントからプラグを抜いてください

触れないでください

感電を防ぐために、アースを行ってください

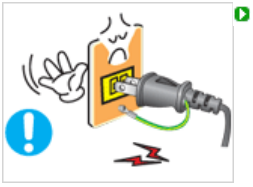
電源

長期間使用しない場合には、コンピュータを DPM に設定します。

スクリーンセーバーを使用している場合には、アクティブ スクリーンモードに設定します。

下記に記載された絵はあくまでもイメージです。

残像防止方法へのショートカット

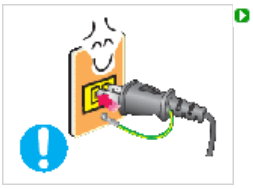


破損した電源コードまたはプラグ、破損またはがたつきのあるコンセントを使用しないでください。

▸ 漏電または火災の原因となることがあります。

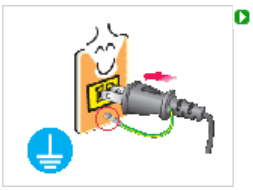
コンセントにプラグを抜き差しするときに、濡れた手で電源プラグに触れないでください。

▸ 感電の原因となることがあります。



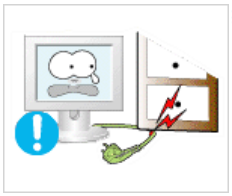
電源コードは、アースされたコンセントに接続してください。

▸ 漏電または傷害の原因となることがあります。



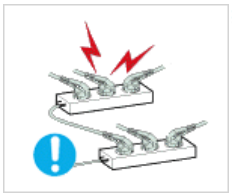
電源プラグはコンセントにしっかりと正しく差し込みます。

▸ 火災の原因となることがあります。



電源プラグを無理に曲げたり引っ張らないでください。また、重い物をプラグの上に乗せないでください。

▸ 火災の原因となることがあります。



同じコンセントに複数の電気製品を接続しないでください。

▸ 過熱による火災の原因となることがあります。

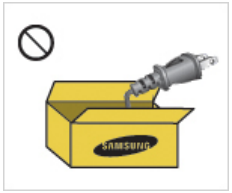
製品の使用中は電源コードを外さないでください。

▸ 感電によるモニターの故障の原因となることがあります。

本体から電源を抜く場合や、コンセントから電源を抜く場合のことを考えて、余裕を持って抜き差しができる環境に設置をしてください。

▸ 感電または火災につながる恐れがあります。

付属の電源コードセットは本製品のみにご使用ください。
他製品には使用しないでください。



また、他の製品に付属されている電源コードを本製品に使用しないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。

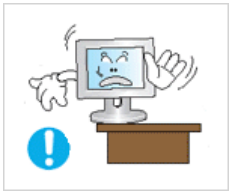
取り付け

ほこりが多い場所、非常な高温または低温にさらされる場所、湿度の高い場所、化学溶媒が使用されている場所、および空港や駅など 24 時間製品を使用する場所に設置する場合には、認定お客様相談ダイヤルにご相談ください。

ご相談せずに設置した場合、モニターに重大な損傷が発生することがあります。

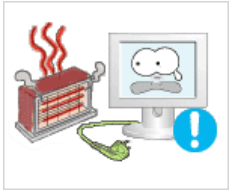
- モニターを移動するときには落下に十分ご注意ください。
  - 製品の損傷またはけがをする恐れがあります。

- 製品の移動は必ず 2 人以上で行ってください。
  - 落下事故やケガ、製品の破損の原因となることがあります。



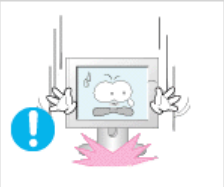
- キャビネットやラックなど高いところに製品を設置するときには、製品がはみ出たりしないようしっかりと安定した状態で設置してください。
  - 落下または傷害の原因になる場合があります。
  - 製品に合ったサイズのキャビネットまたはラックを使用してください。

- ろうそく、蚊取り線香、タバコおよびその他の熱源を製品に近づけないでください。
  - 火災の原因となることがあります。



- 電源コードまたは製品は、熱源となる機器に近づけないでください。
  - 漏電または火災の原因となることがあります。

- 本棚やクローゼットなど、換気の悪い場所に設置しないでください。
  - 内部の温度が上昇して、火災の原因となることがあります。



- 手荒に取り扱わないでください。
  - 破損や故障の原因になることがあ ります。

- 製品の前面を下にして床に置かないでください。
  - 表示画面が損傷する場合があります。

- 壁掛け金具の設置は、専門の業者が行うようにしてください。
  - 落下して傷害の原因になる場合があります。
  - 指定された壁掛け金具で設置してください。

- 製品は、換気が十分に行われる場所に設置してください。壁から 10 cm 以上離してください。
  - 内部の温度が上昇して、火災の原因となることがあります。

- 梱包材のビニールに、お子様が手を触れないようにしてください。
  - お子様がビニールで遊んでいると、重大な傷害 (窒息) の原因となることがあります。

- モニターの高さ調整の際には指や手を挟まないよう十分ご注意ください。
  - 製品の損傷またはけがをする恐れがあります。

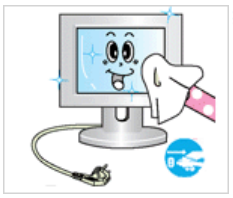
清掃と使用

モニターの筐体または TFT-LCD 画面の表面を清掃するときには、少し湿らせた柔らかい布で拭き取ります。

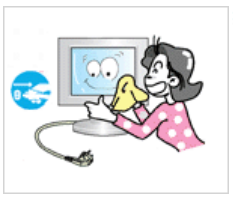
- 製品の表面にクリーナーを直接スプレーしないでください。
  - 本体の脱色または歪み、画面表面のはがれが発生することがあります。

- 製品の清掃には、モニタークリーナーを柔らかい布につけて使用してください。モニタークリーナー以外の洗剤を使用する場合には水で10倍に薄めてから使用してください。

- 電源プラグのピンを清掃するとき、またはコンセントのほこりを取り除くときは、乾いた布を使用します。
  - 火災の原因となることがあります。



- 製品を清掃するときは、電源コードを切り離してください。
  - 感電または火災の原因となることがあります。



- 製品を清掃するときには、まず電源コードを外して乾いた布で力を入れずに拭き取ります。
  - (ワックス、ベンゼン、アルコール、シンナー、殺虫剤、潤滑剤またはクリーナーなどの化学薬品を使用しないでください)これらの薬品によって、製品表面の外観が変わったり、製品の表示ラベルがはがれることがあります。

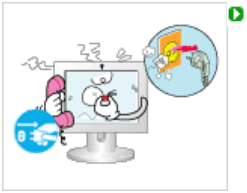
- 製品の筐体にはキズが付きやすいため、液晶モニター用のクリーニングクロスを使用してください。
  - クリーニングクロスに少量の水をつけて使用してください。また、クリーニングクロスに異物がついていると製品にキズがつきますので、使用前に異物がついていないかよくご確認ください。

- 製品を清掃するときには、製品本体に水を直接かけないでください。
  - 感電、火災または故障の原因となることがあります。

その他

- この製品は、高電圧を使用しています。お客様ご自身で製品の分解、修理または改造を行わないでください。

- 漏電または火災の原因となることがあります。修理が必要な場合には、お客様相談ダイヤルまでご連絡ください。



- 製品から異臭や異音、煙が出る場合には、直ちに電源プラグを抜いてお客様相談ダイヤルにご連絡ください。
  - 漏電または火災の原因となることがあります。

- 製品を湿気、ほこり、煙、水がかかる場所、または自動車の中に設置しないでください。
  - 漏電または火災の原因となることがあります。

- 製品が落下したりケースが破損した場合には、電源をオフにして電源コードを切り離してください。お客様相談ダイヤルにご連絡ください。
  - 漏電または火災の原因となることがあります。

- 雷が発生した場合には、電源コードまたはアンテナ ケーブルに触れないでください。
  - 漏電または火災の原因となることがあります。

- 配線または信号ケーブルのみを持ってモニターを動かさないでください。
  - ケーブルが破損して、落下事故、感電、製品の損傷または火災の原因となることがあります。

- 電源コードまたは信号ケーブルだけを持って、製品を持ち上げたり、前後または左右に動かさないでください。
  - ケーブルが破損して、落下事故、感電、製品の損傷または火災の原因となることがあります。

- テーブルやカーテンで換気口がふさがれないようにしてください。
  - 内部の温度が上昇して、火災の原因となることがあります。

- 水の入った容器、花瓶、植木鉢、医薬品や、金属類を製品の上に置かないでください。

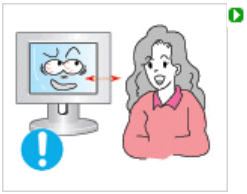
- 製品が水に濡れたり、異物が製品内部に入ったりした場合には、電源コードを切り離してお客様相談ダイヤル にご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災につながる恐れがあります。

- 可燃性のスプレーまたは可燃物を製品に近づけないでください。
  - 爆発または火災の原因となることがあります。

- 箸、コイン、ピンおよび刃物などの金属類、マッチや紙などの可燃物を (換気口、入出力端子などから) 製品の中に入れないでください。
  - 製品が水に濡れたり、異物が製品内部に入ったりした場合には、電源コードを切り離してお客様相談ダイヤルにご連絡ください。
  - 漏電または火災の原因となることがあります。

- 静止画面を長時間表示し続けると、残像が発生したり画面がぼやけたりする場合があります。また、場合によっては液晶パネルが焼き付けを起こす場合があります。
  - 長時間製品を試用しない場合には、スリープ モードにするか動きのあるのスクリーン セイバーを使用します。

- 製品に適した解像度および周波数を設定します。
  - 視力に影響を与えることがあります。



- 製品を近くで長時間見ないでください。
  - 視力低下の原因になり、場合によっては人体に影響を及ぼします。

- 1 時間モニターを使用したら少なくとも 5 分間の休憩をとってください。

- 不安定な棚や平らでない面、または振動の多い場所に設置しないでください。
  - 落下事故やケガ、製品の破損の原因となることがあります。
  - 振動の多い場所でこの製品を使用すると、製品が破損して火災の原因となる場合があります。

- 製品を移動するときには、電源をオフにして、電源プラグ、アンテナ ケーブル、および製品に接続されているすべてのケーブルを切り離します。

感電または火災の原因となることがあります。

お子様が製品にぶら下がったり、よじ登らないようにしてください。

製品が落下して傷害または死亡事故の原因になる場合があります。

製品を長期間使用しない場合には、コンセントから電源コードを外してください。

ほこりがたまって過熱または火災の原因となったり、感電または漏電の原因となることがあります。

製品に重たいものを乗せたり、小さいお子様が興味を示すようなもの（おもちゃやお菓子など）を置いたりしないでください。

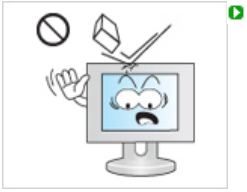
お子様が製品にぶら下がって、落下により傷害または死亡事故の原因となることがあります。

スタンドだけを持った状態で、製品のを上下反対にしないでください。

落下してケガ、製品の破損の原因となることがあります。

直射日光の当たる場所、炎またはヒーターなどの熱源の近くに製品を置かないでください。

製品の寿命が短くなったり、火災の原因となることがあります。



製品の上に物を落としたり、製品に衝撃を与えないでください。

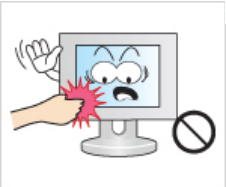
漏電または火災の原因となることがあります。

加湿器やキッチン、食卓の近くで本製品を使用しないでください。

漏電または火災の原因となることがあります。

ガス漏れがあった場合には、製品または電源プラグに触れずに直ちに換気を行ってください。

火花が発生すると、爆発または火災が発生することがあります。



長時間電源をオンにしていると液晶パネルが高温になりますので触れないようにしてください。

- 特に小さなお子様が触れないよう十分ご注意ください。

製品の角度またはスタンドの高さを調整するときには注意してください。

- 手や指を挟まれると、傷害の原因となることがあります。
- また、製品を傾けすぎると、転倒して傷害の原因となることがあります。

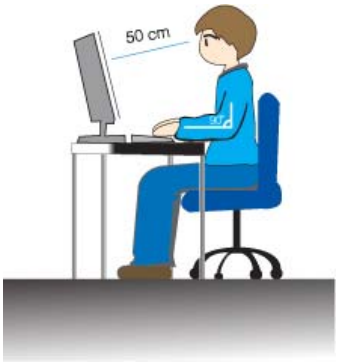
製品を子供の手の届く高さに設置しないでください。

- 落下して傷害の原因になる場合があります。
- 製品の前部は重いため、水平で安定した面に設置してください。

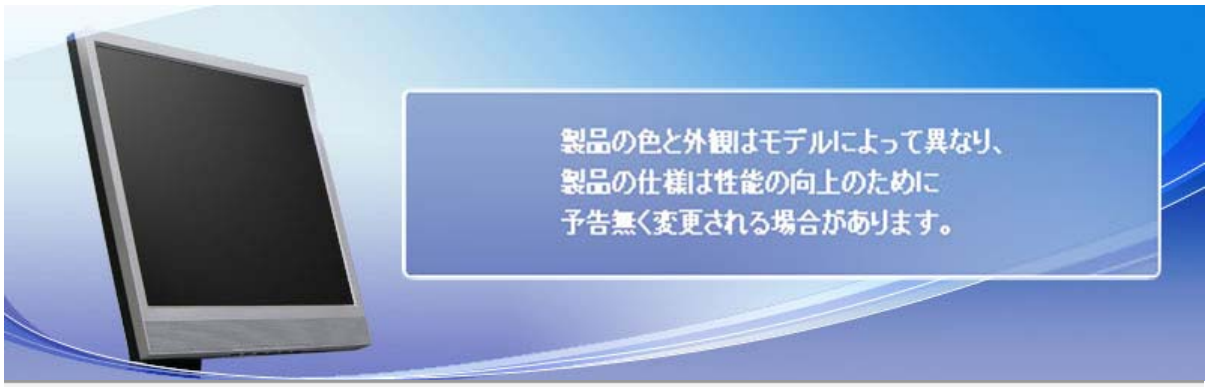
製品の上に重い物を載せないでください。

- けがや製品の破損の原因となることがあります。

モニターを使用するときの正しい姿勢



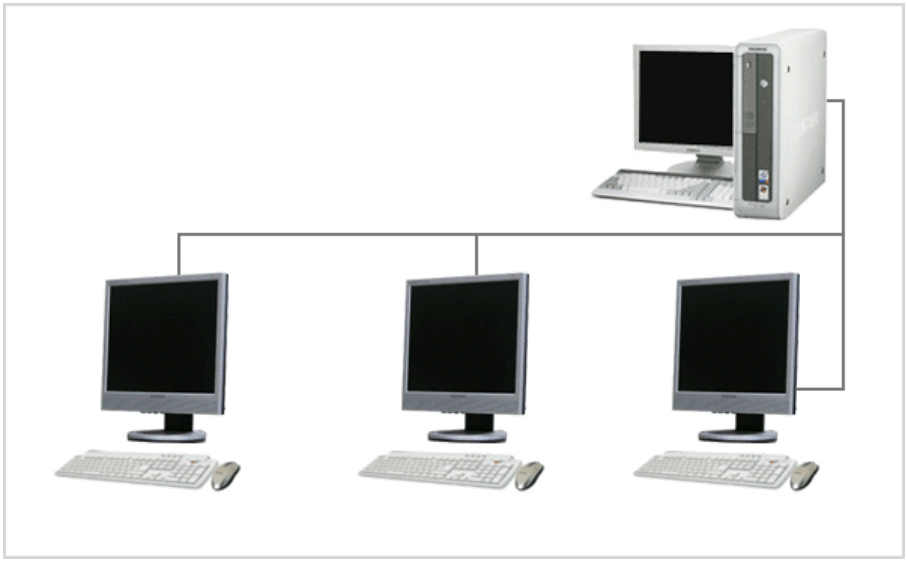
- 製品を使用するときには、正しい姿勢で使用します。
  - 製品を見るときには背筋を伸ばします。
  - 目と画面との距離は、45～50cmとします。画面の高さより若干高い位置から、画面を見下ろすようにします。
  - 製品を使用するときには、正しい姿勢で使用します。
  - 画面に光が反射しないように角度を調整します。
  - 腕は体に対して垂直になるようにし、手の甲と腕が同じ高さになるようにします。
  - 肘を 90 度に保ちます。
  - 膝の角度は 90 度より大きくなるようにし、かかとはしっかりと床につけます。腕は心臓より低くなるように保ちます。



はじめに

機能

ネットワークモニターとは?



- 一般的なモニターと同じ方法でネットワークモニターを使用することができます。LAN 経由によるホスト PC への接続によって、インターネットへの接続、文書の作成、画像の編集など、ほとんどのコンピュータと同じ機能を提供します。さらに、外部デバイス(DSC、MP3、外部ストレージメディア)を USB ポートに接続して、音楽や動画の再生およびゲームを行うことができます。これは新しいコンセプトのモニターです。
- プロジェクタまたは他の表示デバイスを VGA OUT ポートに接続することにより、ネットワークモニターに表示されている画面を他のユーザーと共有することもできます。この機能を使用して、ビデオ会議やさまざまな共有タスクを行うことができます。
- さらに、ネットワークモニターには Windows XP がインストールされているため、ホスト PC に依存することなくインターネットの検索および USB メモリの検索を行うことができます。

パッケージ内容

ご使用前に、以下の付属品が揃っているか確認 してください。
万一不足するものがあった場合、お客様ご相談ダイヤルかお客様相談ダイヤルまでご連絡ください。

同梱物

スタンドなし

スタンド付き

取扱説明書

簡単セットアップガイド

保証書

ユーザー ガイド

ケーブル類

電源コード

別売り

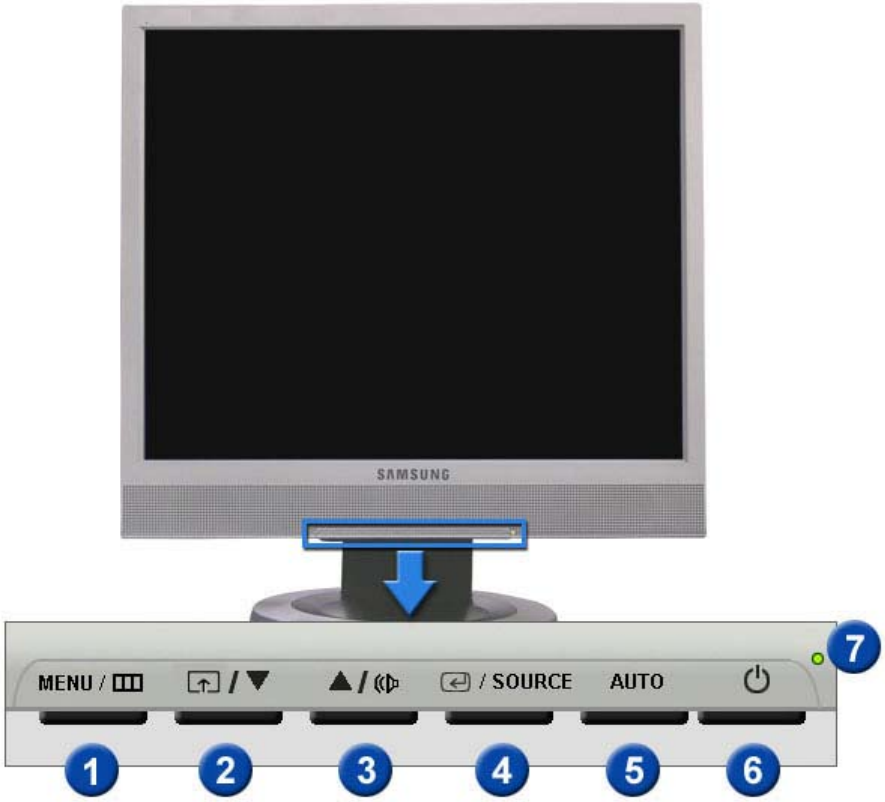
キーボード(USB)

マウス (USB)

ミニD-Sub15ピンケーブル

お使いのモニター

前面（スタンドの形状は製品ごとに異なります）



1	MENU ボタン [▭]	OSD（On Screen Display）メニューを開きます。OSD(On Screen Display)メニューの終了または前のメニューに戻るときにも使用します。
2	カスタマイズキー [▭]	好みに応じて、ユーザー調整ボタンの割り当てをカスタマイズすることができます。 ※ [設定] > [カスタマイズキー] から目的の機能をカスタマイズキーに設定することができます。
3	音量ボタン [((▷]	OSD がスクリーンに表示されていない場合は、このボタンを押して音量を調整します。
2,3	調整ボタン [▼/▲]	メニューの項目を移動/調整します。
4	エンターボタン [▭] / SOURCEボタン	ハイライト表示されたメニュー項目を決定します。/ 〔SOURCE〕ボタンを押し、OSD(On Screen Display)メニューがオフの間にビデオ信号を選択します。
5	オート（AUTO)ボタン	自動調整するにはこのボタンを使用します。 >> >>アニメーション・クリップを見るには、ここをクリックします。
6	電源ボタン [⏻]	モニターのオン・オフにはこのボタンを使用します。 ※ クライアントモードで電源ボタンを押すと、Windows XPe がシャットダウンされるので注意してください。Windows を強制的にシャットダウンすると、ダメージの原因となることがありますのでご注意ください。 これらの場合には、モニターが強制的にシャットダウンされ、オペレーティングシステムが破損する場合があります。したがって、EWF が有効になっていることを確認してください。 1. モニター モードをクライアント モードから切り替えて、電源ボタンを押し下げたままにして電源をオフにします。 2. クライアント モードで 5 秒以上電源ボタンを押し下げたままにして、電源をオフにします。 Windows がクラッシュしたためにお使いのコンピュータを起動できない場合には、管理者にお問い合わせください。
7	電源ランプ	正常作動中はライトが緑色に点灯します。調整が保存される場合は緑色で1回点滅します。

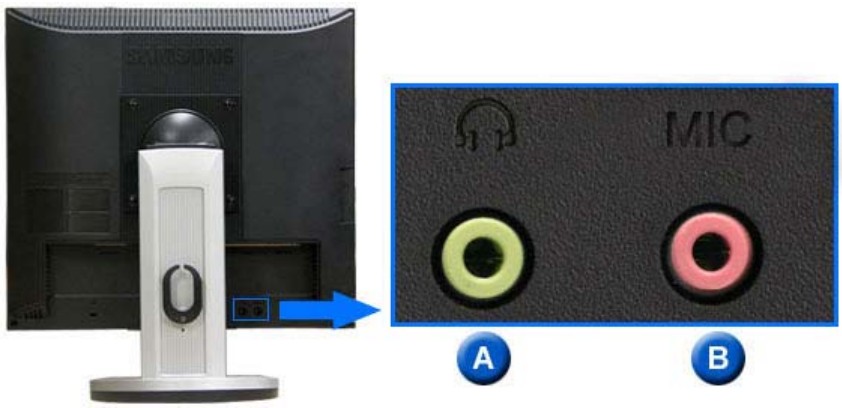
※ このモニターはPowerSaverという内蔵型電源管理システムを備えています。このシステムはモニターが一定時間使用されない場合に、モニターを低出力モードに切り替 えることによってエネルギーを節約します。電力節約のため、使用しないときや 長時間席を離れるときはモニターを

オフにしてください。

背面

※ モニタ背面の構成は、製品によって異なる場合があります。

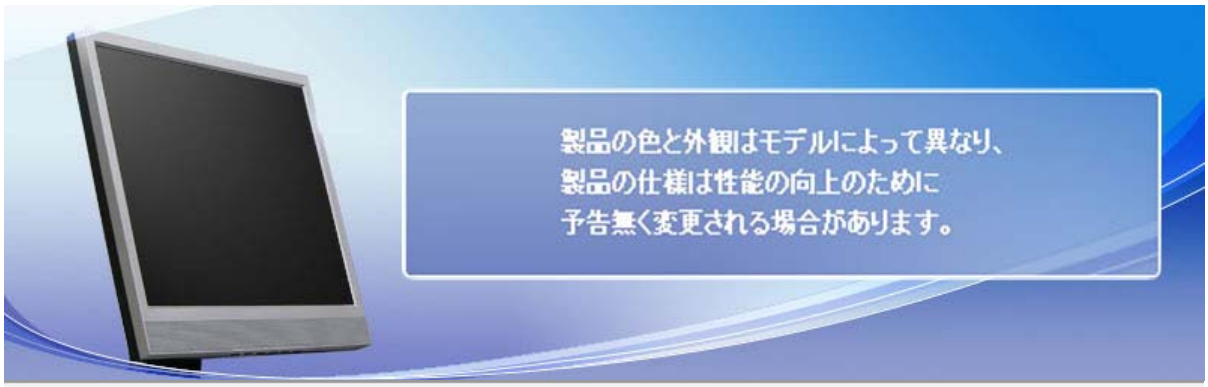
1	POWER IN 端子	モニターの電源コードをモニター背面のPOWER(電源端子)に接続します。
2	VGA IN 端子	コンピュータ背面にある15ピンのD-subコネクタに信号ケーブルを接続します。
3	RS-232C 接続端子	RS-232C ケーブルをこの端子に接続します。
4	VGA OUT 端子	D-Subケーブルを使用してモニターを他のモニターに接続します。
5	ケンジントン保護スロット	ケンジントン ロックは、公共の場所で使用するときにシステムを固定するのに使用する装置です。 ※ ロック装置は、別途購入する必要があります。 ロック装置は、別途販売店等でご購入ください。
6	ケーブル固定リング	ケーブルの接続が終了したら、ケーブルをケーブル固定リングに固定します。



A	イヤフォン ジャック [🎧]	ヘッドフォン接続端子
B	マイク接続端子 (MIC)	MIC 端子にマイクを接続します。

C	USB(USB接続端子)	マウス、キーボード、または外部機器（たとえばDSC、MP3、外部記憶装置など）などのUSB機器を接続します。
D	LAN(LAN接続端子)	モニターとして使用するときに接続します。
E	AUDIO IN	お使いのモニターのオーディオ ケーブルを、コンピュータ背面のオーディオ ポートに接続します。

※ ケーブル接続の詳細については、モニターの接続の項目を参照 してください。

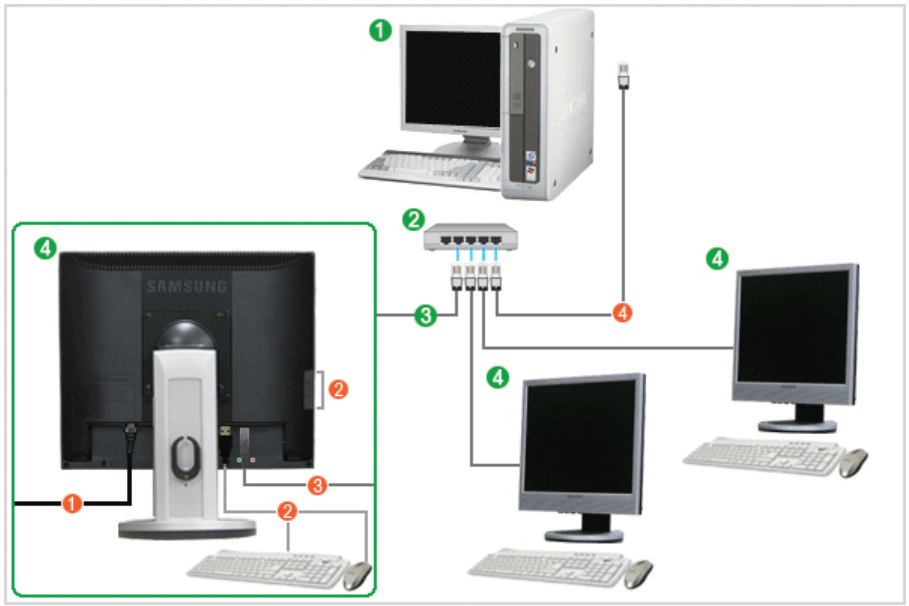


接続

ケーブルの接続　スタンドの使用　他のスタンドの使用

ケーブルの接続

LANケーブルを使用してホストPCに接続する



1 ホストPC　2 ハブ　3 LANケーブル　4 モニター

1 電源コードをモニター背面の電源端子に接続します。
2 いずれかのUSBポートにマウスとキーボードを接続します。
3 モニター背面のLANポートとハブを接続します。

4 ハブとホストPCのLANポートを接続します。

※ ホストPCにはIPアドレスが割り当てられている必要があります。

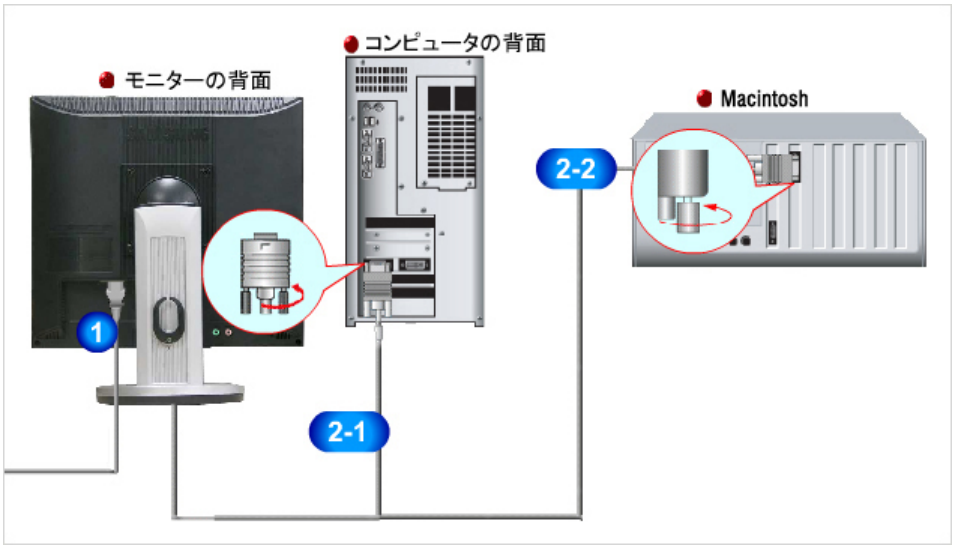
LANの接続とIPアドレスの設定が完了したら、ホストPCの画面をモニター上に表示することができるようになります。

VGA INポートを使用して、モニターをPCに直接接続します。

VGA OUTポートを接続して、同じ画面をプロジェクターなどの他のモニターで表示します。(プレゼンテーション用)

USBポートを使用して、外部機器(DSC、MP3、外部記憶装置など)を接続します。

ケーブルの接続 PowerSaver (通常のモニターとして使用するとき)

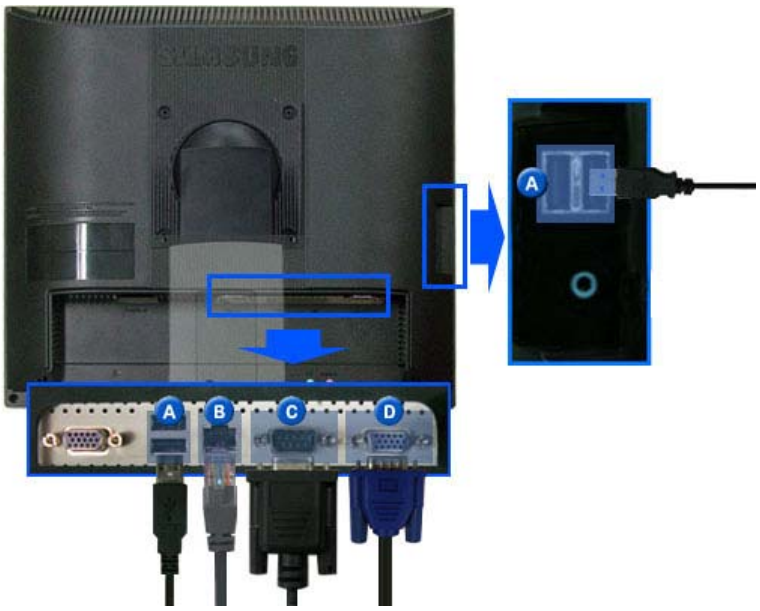


1. モニターの電源コードをモニター背面のPOWER(電源端子)に接続します。
電源コードをコンセントに差し込みます。
2. 適切な接続方法でお使いのコンピュータに接続します。
   - 2-1 ビデオカードのアナログ端子を使用します。
   - モニター背面にある15ピンのD-subポートに信号ケーブルを接続します。

   [VGA IN]
   - 2-2 Macintoshコンピュータへの接続
   - D-Sub接続ケーブルを使用してモニターをMacintoshコンピュータに接続します。

※ コンピュータとモニターの電源を入れます。モニターに画像が表示されたら接続完了です。

外部装置の接続



A USB (USB接続端子)	マウス、キーボード、または外部機器(たとえばDSC、MP3、外部記憶装置など)などのUSB機器を接続します。 (ホストPCに接続するかクライアントオフィスに切り替えずにこの装置を使用することはできません)
B LAN (USB接続端子)	LAN ケーブルを接続します。

C RS-232C 接続端子	RS-232C ケーブルをこの端子に接続します。
D D-sub接続端子 [VGA OUT]	他のモニターに接続して使用します。 （メインモニターの画像が接続されたモニターに表示されます）

スタンドの使用

傾斜角度

※ モニター画面を前に傾けて、所定の角度に調整することができます。

スイベル スタンド

※ この回転するスタンドを使用して、モニター画面の位置を簡単に左右方向に調整することができます。モニターの底部にはゴム足が取り付けられており、設置位置に固定することができます。

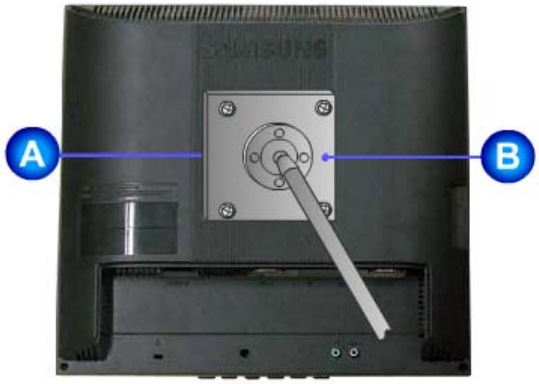
ケーブルの接続　スタンドの使用　他のスタンドの使用

他のスタンドの使用

ベースの取付け

※

このモニターでは、100mm×100mmのVESA互換マウンティングインターフェイスパッドを使用できます。

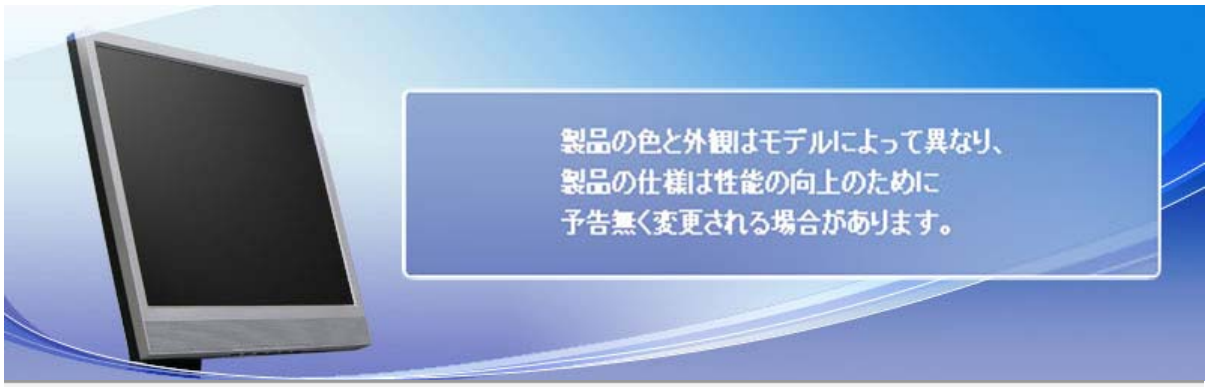


A モニター　　B マウンティングインターフェイスパッド（別売り）

1. モニターの電源を切り、電源コードを抜きます。
2. 画面を保護するためにクッションを下に敷き、LCDモニターの表側を下にして平らな場所に置きます。
3. 4本のねじを外し、LCDモニターからスタンドを取り外します。
4. マウンティングインターフェイスパッドをリヤカバーマウンティングパッドの穴に合わせ、アーム型ベース、壁掛けハンガー、その他のベースに付属の4本のねじで固定します。

- モニター内部を損傷する可能性がありますので、標準の寸法より長いネジを使用しないでください。
- VESA 規格のネジの仕様に準拠していないウォールマウントの場合、仕様によってネジの長さが異なることがあります。
- VESA 規格のネジの仕様に準拠していないネジを使用しないでください。
  製品を損傷したり、製品が落下してケガをすることがありますので、ネジを締め付けすぎないでください。<0} {0><}100{>サムスンではこのような事故に対して責任を負いかねます。
- VESA 以外、または指定以外のウォールマウントを使用した場合、もしくはユーザーが製品の設置についての指示に従わなかった場合に発生する製品の損傷やケガについて、サムスンは責任を負いかねます。

- モニターを壁に設置する場合には、モニターを壁面から少なくとも 10cm 離して取り付けるためにウォール マウント キットを購入する必要があります。
- 詳細については、お客様相談ダイヤルにお問い合わせください。Samsung Electronics は、指定されたもの以外のベースの使用によって発生した損害について、責任を負いかねます。
- 国際規格に準拠したウォールマウントを使用してください。



XPeクライアントとは?

Microsoft Windows XP Embedded（XPe）クライアントは、Windows XP っSEmbeddedオペレーティングシステムを使用します。XPeクライアントがCitrix ICAサーバーまたは他のMicrosoft RDPサービスを提供できるサーバーに接続されているときは、キーボード、マウス、オーディオ/ビデオおよびディスプレイのデータは、クライアントとサーバーをつなぐネットワーク経由で伝送されます。

接続できるサーバー

Citrix ICA（Independent Computing Architecture）Server

- ターミナルサービスおよびCitrix MetaFrameがインストールされたMicrosoft Windows 2000/2003 Server
- Citrix MetaFrameがインストールされたMicrosSoft Windows NT 4.0 Server

Microsoft RDP（Remote Desktop Protocol）Server

- ターミナルサービスがインストールされたMicrosoft Windows 2000 Server
- Microsoft Windows 2003 Sever
- Microsoft Windows XP Professional

※ このマニュアルでは、Windows XP Embeddedクライアントが提供する機能について説明しています。ただし、Windows XP Embeddedの一般的な機能については説明していません。Windows XP Embedded全般に関する詳細については、Microsoft が提供するWindows XP Embedded Helpを参照してください。

ログオン

ログオン

クライアントが起動したら、ユーザー名とパスワードを入力してログオンすることができます。既定のユーザー名として「Administrator」と「User」が設定されており、パスワードはそれぞれスペース1個となっています。

Windows XP Embeddedのデスクトップ

User

ユーザーがログインすると、下の図のようにUserデスクトップが表示されます。Userデスクトップに表示される既定のアイコンは、Citrix Program Neighborhood、Remote Desktop ConnectionおよびInternet Explorerです。この接続を[スタート]メニューから実行することもできます。Userタスクバーには、音量アイコン、VNCサー

バーアイコンおよびシステムの時刻が表示されます。
ユーザーとしてログオンしているときには、システムをユーザーの不正な操作から保護するためのさまざまな制限があります。システムドライブに アクセスすることはできず、それらのドライブに関するプロパティの設定にも制限があります。クライアントの詳細な設定を行うには、管理者としてログオンします。

Administrator

Administratorとしてログオンすると、下の図のようにAdministratorデスクトップが表示されます。Administratorデスクトップに表示される既定のアイコンは、マイコンピュータ、マイネットワーク、Citrix Program Neighborhood、Remote Desktop Connection、Internet Explorerおよびごみ箱です。 Citrix Program Neighborhood、Remote Desktop ConnectionおよびInternet Explorerは、[スタート]から実行することができます。 Administrator タスクバーには、音量アイコン、VNCサーバーアイコン、Enhanced Write Filterステータスアイコンおよびシステムの時刻が表示されます。プログラムの追加および削除を行うには、Administrator権限が必要です。

ログオフ、再起動、シャットダウン

- 現在のセッションからのログオフ、クライアントのシャットダウンまたは再起動をするには、[スタート]メニューを使用します。 [スタート] > [シャットダウン]をクリックします。[Windowsのシャットダウン]ダイアログボックスが表示されます。コンボボックスから操作を選択して[OK]をクリックします。 Ctrl + Alt + Delを押して表示されるWindows Securityダイアログボックスを使用して、クライアントからのログオフまたはシャットダウンを行うことができます。[自動ログオンを有効にする]が有効になっている場合には、ログオフするたびに直ちにログオンします。

- クライアントのログオフ、再起動およびシャットダウンは、EWF（Enhanced Write Filter）の操作に影響を与えます。変更されたシステム設定を保存するには、現在のシステムセッションのキャッシュをフラッシュメモリに保存する必要があります。この操作を行わないと、クライアントがシャットダウンまたは再起動されたときに設定が失われます。（ログオフした場合には、設定は次にログインしたときに復元されます)For more information on the Enhanced Write Filter, refer to the Program Help.

プログラム

- XPe Clientクライアントは、クライアント/サーバーベースのコンピュータプラットフォームです。このプラットフォームでは、クライアントはプログラムを必要とするたびにサーバーにアクセスし、サーバーが提供するユーザーインターフェイス画面のみが表示されます。したがって、XPeクライアントにインストールされているICA、RDP、およびVNCなどのさまざまなプログラムを使用して、クライアントのサーバーへのアクセスやユーザータスクの実行を支援しています。

Citrix Program Neighborhood

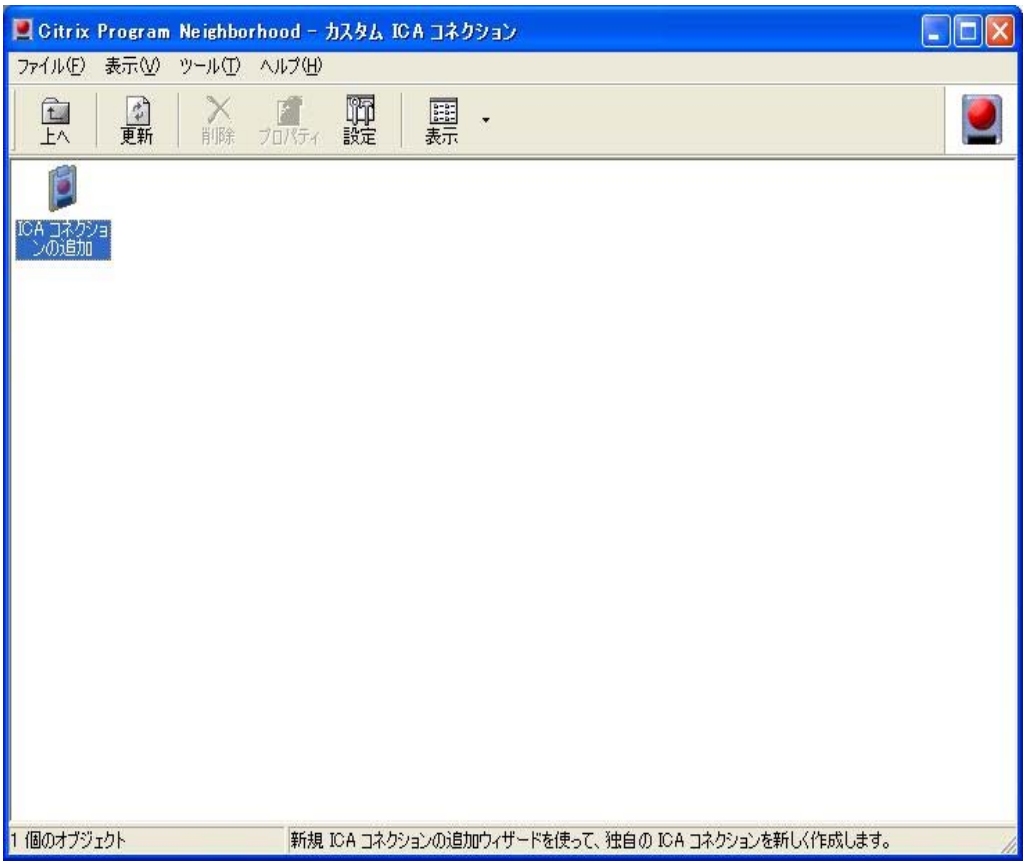
Independent Computing Architecture（ICA）によって、その基盤にかかわらず、さまざまなプラットフォームおよびネットワークを通じて、サーバー上のアプリケーションを使用することができます。
ICA MetaFrame Serverは、アプリケーションの内部ロジックをユーザーインターフェイスから切り離します。この分離によって、ユーザーはクライアント上のユーザーインターフェイスのみで操作を行うようになります。実際のアプリケーションは、100%サーバー上で動作します。 さらに、ICAによるアプリケーションの実行では、ローカルで実行する際に使用する帯域幅の約10%のみを使用します。ICAのこの機能を使用することによって、ユーザーはローカルで作業を行う場合より多くの作業をクライアント上で行うことができるようになります。ICAのコアテクノロジーを以下に示します。

- シンリソース
  - ICAの実行に必要なシステムの要件は低くなっています。Intel 286プロセッサと640K RAMを備えたコンピュータがあれば十分です。したがって、ICAは現在存在するほとんどすべてのコンピュータで実行できます。
- シンワイヤ
  - ICAプロトコルに必要な既定の帯域幅は、平均で20 kbpsです。したがって、ダイヤルアップやISDN接続でも、一定した性能が保たれます。大きなプログラムでも、低い帯域幅で安定して実行することができます。
- ユニバーサルアプリケーションクライアント
  - Citrix ICAプロトコルは、アプリケーションからユーザーインターフェイスを切り離しますアプリケーションがWinFrameマルチユーザーアプリケーションサーバー上で実行されるのに対して、そのユーザーインターフェイスはWinFrameのシンクライアントソフトウェア上で実行されます。したがって、どのような環境でも、アプリケーションを高速に実行することができます。
- プラットフォームに依存しない
  - ICAは、本来オペレーティングシステムのプラットフォームに依存せずに動作します。SUNIX、OS/2、Macintosh、および非DOSのクライアントが市場にはあるため、Windowsアプリケーションをこれらのオペレーティングシステム上で実行することができます。

Citrix Program Neighborhoodは、これらのICA接続を管理するプログラムです。 Citrix Program Neighborhoodを

起動するには、[スタート] > [プログラム] > [Citrix] > [MetaFrame Access Clients] > [Program Neighborhood]を選択するか、[Citrix Program Neighborhood] アイコンをダブルクリックします。

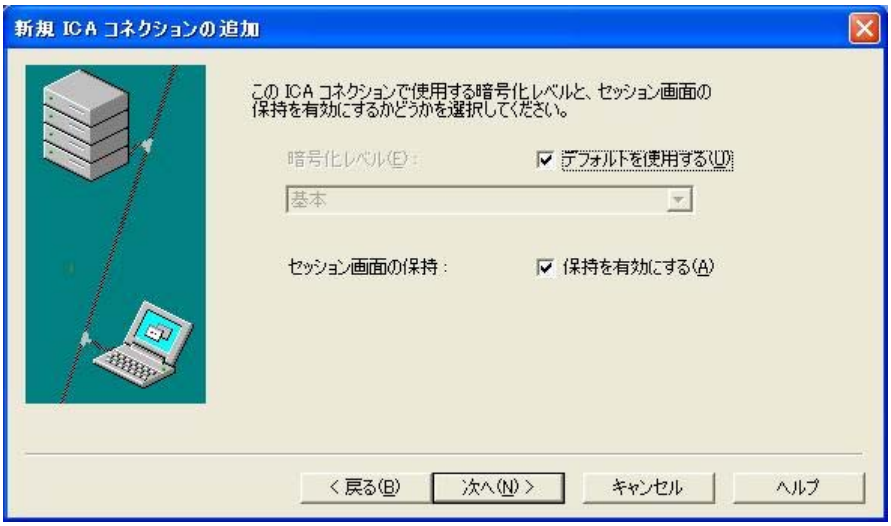
新しいICA接続を作成するには、[ICA接続の追加]アイコンをダブルクリックして手順に従います。



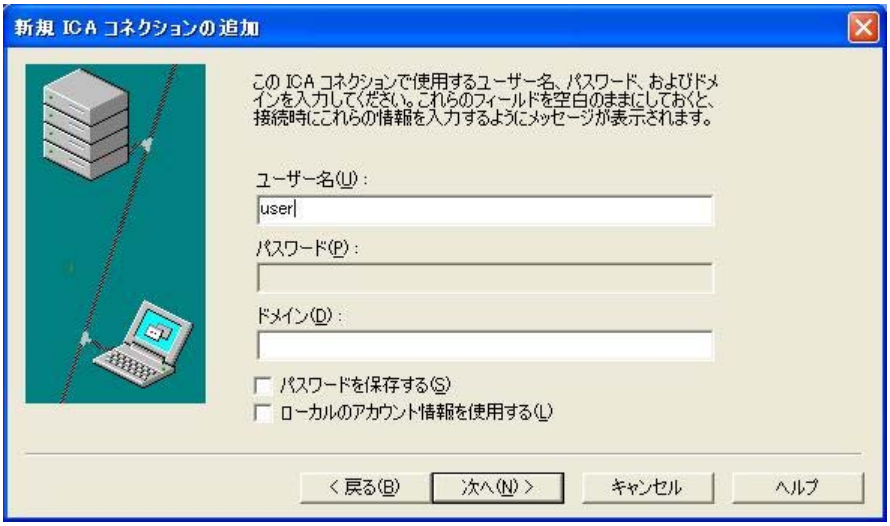
1. 作成する接続のタイプを選択します。

2. 接続の名前とサーバー名（IPアドレスまたはDNS名）を入力します。

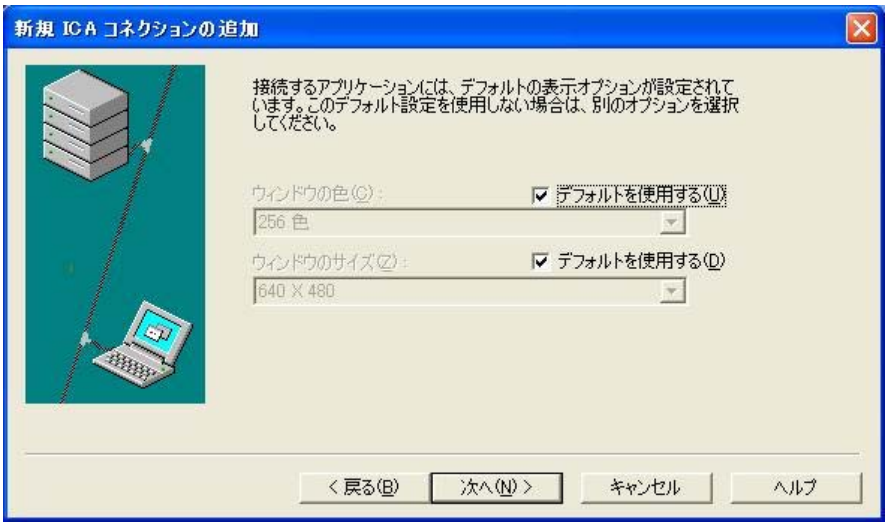
3. 送受信するデータの圧縮の程度と、セッションの信頼性の程度を設定します。



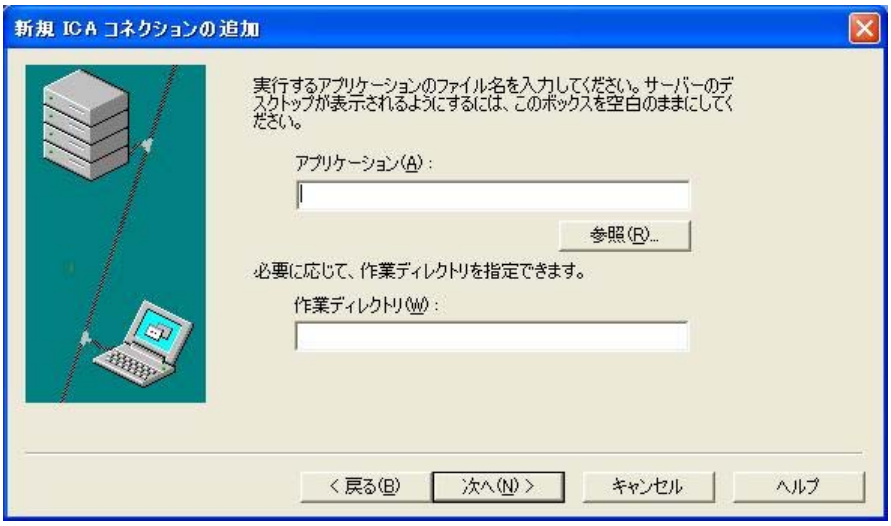
4. サーバーに自動的にログインするには、ユーザー名、パスワードおよびドメインを入力しますここで入力を行わない場合には、サーバーに接続するたびに入力を促すプロンプトが表示されます。



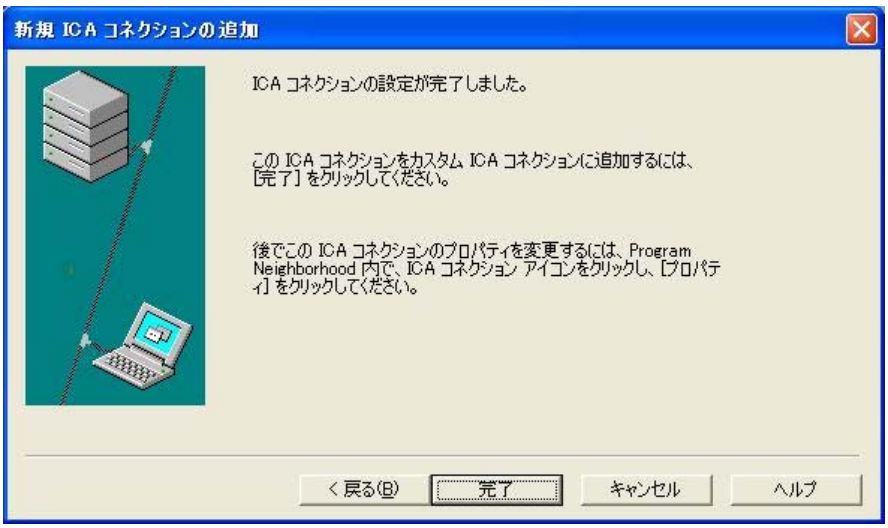
5. 表示するウィンドウの色とサイズを指定できます。



6. 接続に成功すると、サーバーのデスクトップがクライアント上に表示されます。このステップで、アプリケーションが自動的に実行されるようにすることができます。



7. [完了]をクリックして、新しい接続の作成を完了します。



リモートデスクトップ接続

リモートデスクトップ接続によって、ターミナルサーバーまたは他のコンピュータ(Windows 95移行)をリモートから制御することができます。

リモートデスクトップ

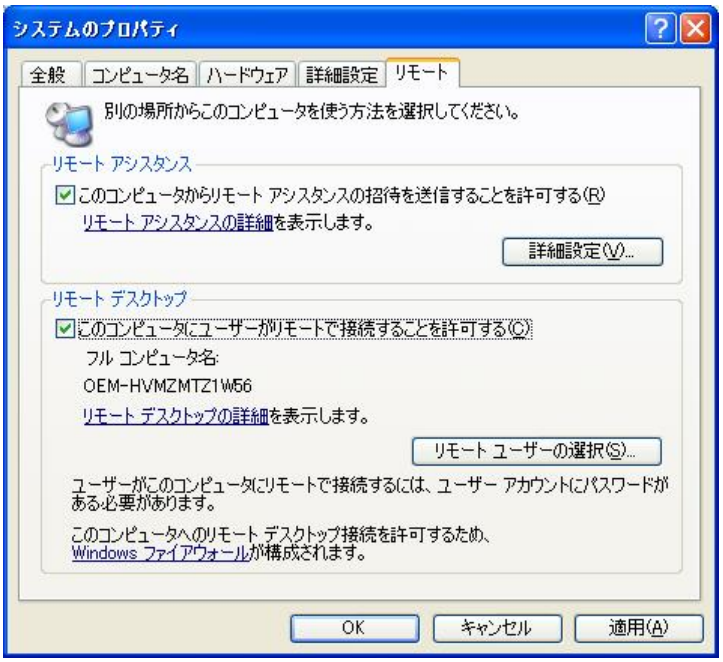
- リモートで制御されるコンピュータには、Windows XP ProfessionalまたはWindows 2000/2003 Serverがインストールされている必要があります。このコンピュータはホストと呼ばれます。
- Windows 95より新しいオペレーティングシステムで稼働しているリモートコンピュータが必要です。このリモートコンピュータはクライアントと呼ばれます。リモートデスクトップ接続用のクライアントソフトウェアがクライアントにインストールされている必要があります。
- インターネットにも接続している必要があります。ブロードバンドのインターネット接続があると、高い性能が得られます。しかしリモートデスクトップは、表示データとホストをリモートから制御するキーボードのデータを含む最小限のデータセットを伝送するため、ブロードバンドのインターネット接続は必須ではありません。低帯域幅のインターネット接続でもリモートデスクトップを実行することができます。

※ Windows XP Professional上でリモートデスクトップを実行しているときには、コンピュータのオペレーティングシステムを使用することはできません。

お使いのコンピュータをホストにする

他のコンピュータから制御を行うには、リモートデスクトップの機能を有効にする必要があります。お使いのコンピュータ上でリモートデスクトップを有効にするには、管理者またはAdministratorsグループのメンバーとしてログインする必要があります。以下の手順を実行します。

- コントロールパネルで[システム]フォルダを開きます。[スタート]をクリックして[設定]をポイントして、[コントロールパネル]をクリックしてから[システム]アイコンをダブルクリックします。
- [リモート]タブで、[ユーザーがこのコンピュータにリモートから接続できるようにする]チェックボックスを選択します。
- コンピュータにリモートから接続するのに適切な許可を持っているか確認して、[OK]をクリックします。
- コンピュータを起動したままにして、インターネットへのアクセスを使用してクライアントのネットワークに接続します。



クライアント上でリモートデスクトップセッションを開始します。

ホストコンピュータへのリモートからの接続を可能にしてクライアントソフトウェアをWindowsベースのクライアントコンピュータにインストールしたら、リモートデスクトップセッションを開始することができます。まず最初に、クライアントコンピュータからホストコンピュータへの仮想プライベートネットワーク接続またはリモートアクセスサービス接続を確立する必要があります。

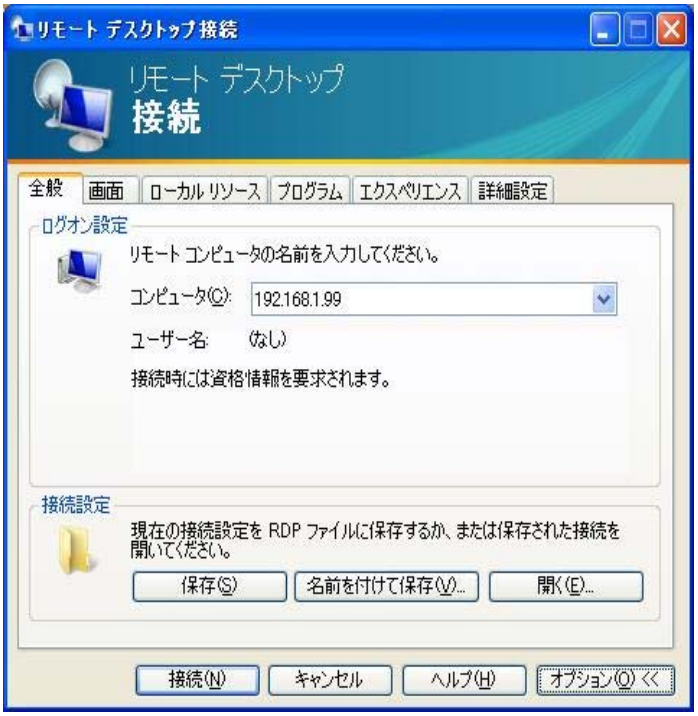
1. [スタート]をクリックし、[プログラム]をポイントしてから[リモートデスクトップ接続]をクリックします。または、[リモートデスクトップ接続]アイコンをダブルクリックします。

   リモートデスクトップ接続ウィンドウが開きます。

2. ホストコンピュータ名を入力します。[オプション]ボタンをクリックして、詳細な設定を行うことができます。

3. オプション

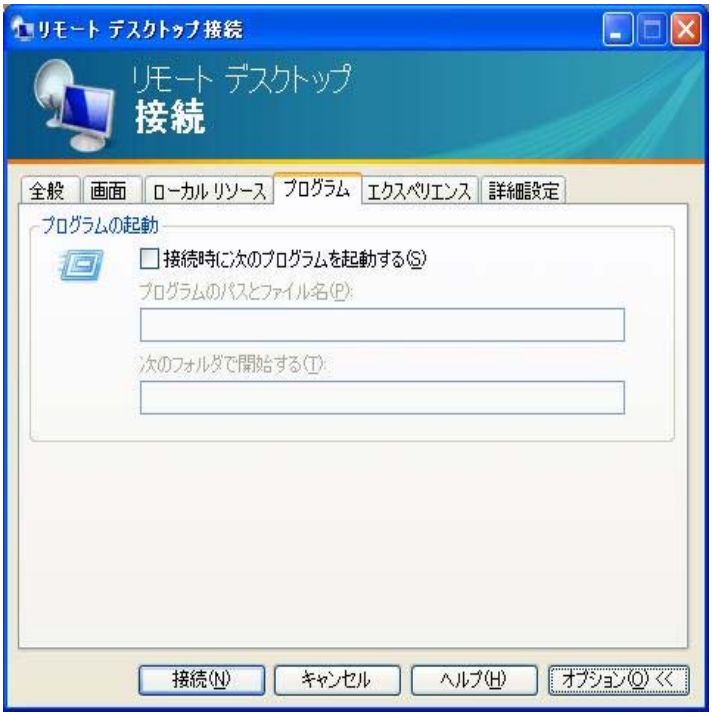
- 全般:ホストコンピュータに接続するためのログイン情報を入力します。ホストに自動的にログインするためのユーザー名とパスワードを入力します。



- 表示:リモートデスクトップ接続は、圧縮された画面データを送受信します。解像度と色数を大きな値に設定すると、速度が遅くなることがあります。

- ローカルリソース:ハードディスクおよびポートを使用するかどうか指定します。

- プログラム:デスクトップを表示するか、接続している場合には必ずアプリケーションを実行するか指定します。既定値は「デスクトップ」です。



- 経験:接続速度を選択し、環境オプションの選択と共有ができます。

4. [接続]をクリックします。[Windowsにログオン]ダイアログボックスが表示されます。

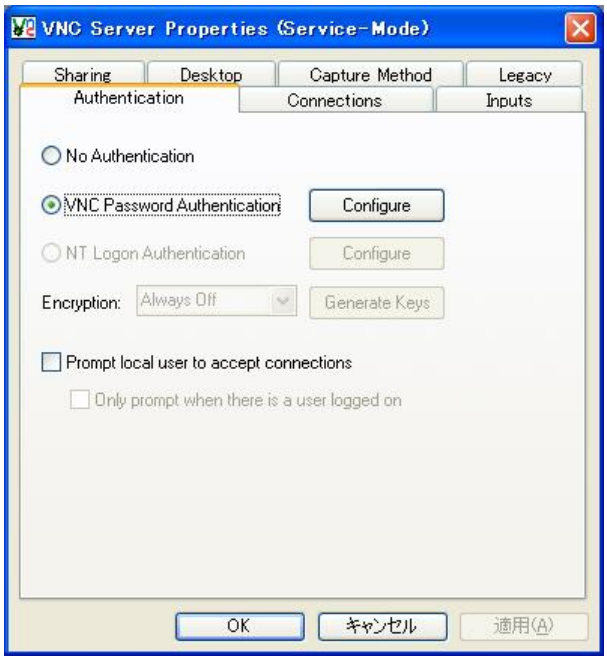
5. [Windowsにログオン]ダイアログボックスに、ユーザー名、パスワードおよびドメイン(必要な場合)を入力し、[OK]をクリックします。[リモートデスクトップ]ウィンドウが開き、ホストコンピュータのデスクトップ設定、ファイルおよびプログラムが表示されます。

※リモートデスクトップ接続の詳細については、Microsoft web siteを参照してください。

RealVNC Server

RealVNC(Virtual Network Computing)は、ネットワーク上の別のコンピュータに接続してリモートから接続できるようにするソフトウェアプログラムです。同様の機能を持つWindowsターミナルサービスと比べて、RealVNCでは1度にサーバーに接続できるのは1人の管理者のみとなっています。つまり、他の人が管理者としてサーバーに接続すると、前の管理者の接続が切断されます。
RealVNCでは、サーバーおよびビューアはVNCプロトコルを使用して通信を行います。リモートから制御したコンピュータ上にRealVNCサーバーを、RealVNCサーバーがインストールされたコンピュータをリモートから制御するコンピュータにVNCビューアをインストールします。したがって、RealVNCサーバープログラムはWindows XP Embeddedクライアント上にインストールされます。

このプログラムを使用することにより、問題を解決するためにクライアントのサイトに直接移動する必要が無くなります。代わりに、サーバーからクライアントに接続して問題をリモートから解決することができます。このため、RealVNCは非常に便利に利用することができます。
RealVNCサーバーのプロパティを設定できるのは管理者のみです。RealVNCの設定ダイアログボックスを表示するには、システムトレイでRealVNCアイコンをダブルクリックします。このダイアログボックスから、VNCサーバーを実行してパスワードとさまざまなプロパティを設定することができます。既定のパスワードは「Administrator」に設定されています。大文字と小文字が区別されますので注意してください。



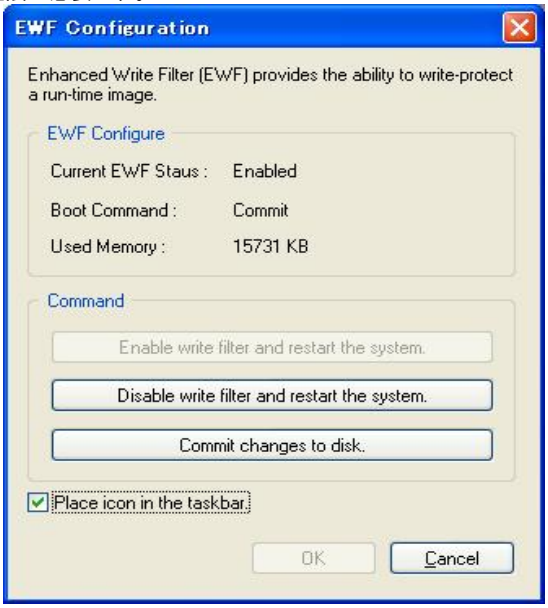
Internet Explorer

XPeクライアントにはInternet Explorerが含まれています。このプログラムは、すべてのユーザーが使用できます。Internet Explorerの詳細については、Microsoft websiteを参照してください。

Enhanced Write Filter

Enhanced Write Filter（EWF）は、フラッシュボリュームを書き込みアクセスから保護し、それによってフラッシュデバイスの耐久性を維持します。 EWFは、クライアントにフラッシュボリュームへの直接アクセスを許可するのではなく、キャッシュ経由による読み込みおよび書き込みアクセスを提供します。

EWF が有効になっているときには、データはフラッシュ メモリに格納されません。キャッシュに保存されたデータは、クライアントの動作中のみ有効となります。キャッシュされたデータは、クライアントが再起動またはシャットダウンされると失われます。 したがって、レジストリ、お気に入り、cookieフォルダなどに書き込まれたデータを保存するには、キャッシュに保存された内容をフラッシュに転送する必要があります。 メモリ不足のためにキャッシュへの書き込みができないときには、エラーメッセージが表示されます。このメッセージが表示された場合には、EWFキャッシュをフラッシュするためにEWFを無効にする必要があります。ユーザーは、画面右下のトレイにあるEWFアイコンをダブルクリックして、EWF Managerを呼び出すことができます。さらにユーザーは、コマンドプロンプトからEWF管理コマンドを入力して、EWFの設定を変更できます。この作業には、管理者権限が必要です。



ディスクの書き込み保護を有効にして、コンピュータを再起動します。

- EWFが無効になっている場合には有効にします。この項目が選択されている場合には、キャッシュがクリアされEWFが有効になります。コンピュータを再起動した後、クライアントの設定とファイルシステ

ム情報がキャッシュに書き込まれます。この操作は、コマンドプロンプトに「ewfmgr.exe c: -enable」と入力してコンピュータを再起動することでも実行できます。

ディスクの書き込み保護を無効にして、コンピュータを再起動します。

- この項目が有効になっているときには、EWFが実行されています。この項目が選択されているときには、(キャッシュに保存されている)クライアントの現在の状態がフラッシュボリュームに保存され、EWFが無効になります。コンピュータを再起動した後、クライアントの設定とファイルシステム情報がフラッシュボリュームに書き込まれます。この操作は、コマンドプロンプトに「ewfmgr.exe c: -commitanddisable」と入力してコンピュータを再起動することでも実行できます。

変更をディスクに書き込みます。

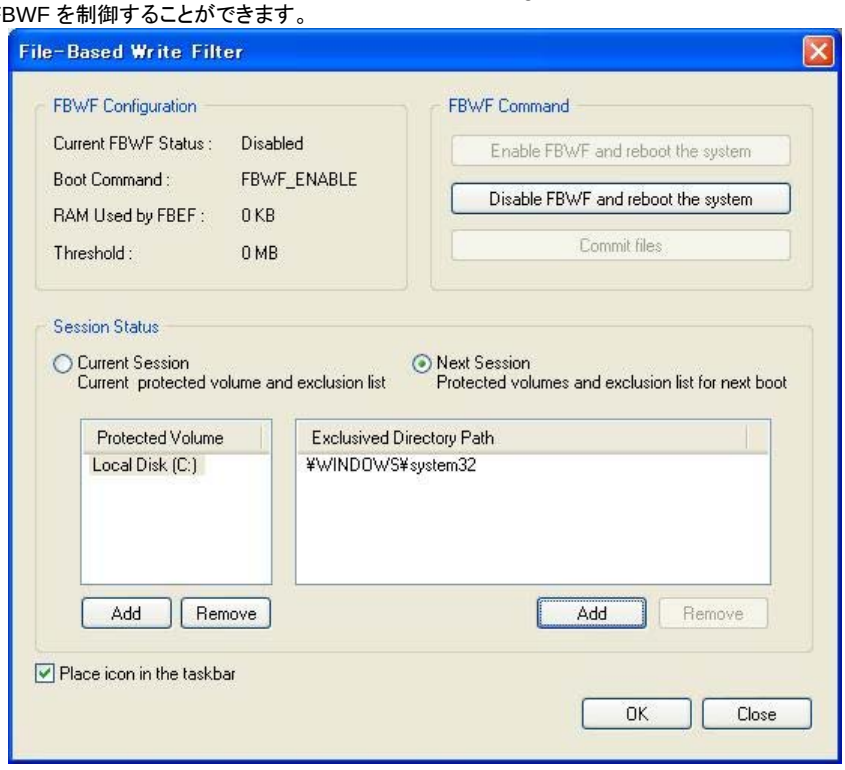
- この項目が有効になっているときには、EWFが実行されています。この項目が選択されているときには、(キャッシュに保存されている)クライアントの現在の状態がフラッシュボリュームに保存されます。ただし、EWFの状態は変更されません。この操作は、コマンドプロンプトに「ewfmgr.exe c: -commit」と入力することでも実行できます。

※保護されたボリュームの設定は、コマンドプロンプトで「ewfmgr.exe c:」と入力すると表示することができます。

ファイルベースの書き込みフィルタ (FBWF)

ファイルベースの書き込みフィルタ (FBWF) は、クライアントのメモリが権限のないユーザーによって書き換えられるのを防止します。メモリへの過剰な書き込みを制限することにより、FBWF では長時間クライアントを使用することができます。入出力を要求した場合には、FBWF はクライアントにメモリではなくキャッシュを使用して操作を行わせ、メモリを保護します。

キャッシュに保存されているデータは、クライアントが正常に操作している間は保存されます。再起動または終了すると削除されます。変更を保存するには、commit コマンドを使用して当該のファイルをディスク上に書き込みます。どのファイルが変更されたかわからない場合には、FBWF を無効にして変更を行い、その後で再度 FBWF を有効にします。コマンド プロンプトから fbwfmgr コマンドのさまざまなオプションを使用して、FBWF を制御することができます。



FBWF の設定

- 現在の FBWF ステータス : FBWF の現在のステータス (有効または無効) を表示します。
- 起動コマンド : 次回起動時に実行される FBWF コマンドを表示します。
- 使用メモリ : FBWF が使用している RAM のサイズを表示します。現在のステータスが「無効」に設定されている場合は、使用メモリは 0 KB と表示されます。
- 最大メモリ : FBWF が使用できる RAM の最大サイズを表示します。

FBWF コマンド

- FBWF を有効にしてシステムを再起動します: 無効になっている FBWF を有効にして、クライアントを再起動します。クライアントが再起動しない場合には、起動コマンドのみが BWF_ENABLE に変更され、現在のステータスは変更されません。
- FBWF を無効にしてシステムを再起動します: 有効になっている FBWF を無効にして、クライアントを再起動します。クライアントが再起動しない場合には、起動コマンドのみが FBWF_DISABLE に変更され、現在のステータスは変更されません。
- 変更をディスクに書き込みます : ディスクが FBWF によって保護されている場合でも、保存したいファ

イルの追加または削除を行うことができます。変更をディスクに書き込むには、[ディスクに変更を書き込む] ボタンをクリックします。

セッション ステータス

- 現在のセッション : FBWF によって保護されているボリュームと、FBWF による保護から除外されているボリュームのフォルダおよびファイルのリストを表示します。
- 次のセッション : クライアントが次回起動されたときに FBWF によって保護するボリュームを選択します 。FBWF による保護から除外するフォルダおよびファイルも選択します。この設定を変更しない場合には、次のセッションは the same as 現在のセッションの設定で保護されます。

※この製品は、**EWF (Enable Write to File)** が **ON (オン)** の状態で出荷されています。プログラムをインストールしてさまざまなウィンドウの設定を行う前に、これを **OFF (オフ)** にしてください。インストールが完了したら、再度 **EWF** を **ON (オン)** にします。.

Windows Media Player

XPeクライアントには、Windows Media Player 6.4が含まれています。Windows Media Playerで、Webサイト上の音声およびビデオファイルを再生することができます。

コントロールパネル

Windowsファイアウォール

Windows Firewallは、お使いのクライアントをさらに強力に保護します。Windows Firewallによって、他のコンピュータからクライアントに入ってくるデータを制限することができ、これによってクライアントのデータをより効果的に制御できるようにします。さらに、クライアントとネットワーク接続の間に障壁を設け、ネットワークからの許可されていないアクセス、ウイルスおよびワームを防止します。
ファイアウォールは、インターネットやその他のネットワークから入ってくるデータを識別する番人と考えることができます。ファイアウォールの設定によって、お使いのコンピュータに入ってくるデータを許可または拒否します。
Windows Firewallは、既定でインストールされクライアント上で有効になります。ただし、管理者がオフにすることもできます。異なるファイアウォールを選択することもできます。したがって、Windows Firewallの使用は必須ではありません。他のファイアウォールの機能を評価して、要件に最適なものを選択してください。別のファイアウォールをインストールして実行するには、Windows Firewallをオフにする必要があります。

Windows Firewallのオン/オフを切り替えるには、管理者としてログオンする必要があります。Windows Firewallのオン/オフを切り替えるには、以下の手順を実行します。

1. Windows Firewallを実行します。

2. [全般]タブで、以下のオプションのいずれかをクリックします。
   - オン（推奨 ）:これは、通常の使用時に推奨される設定です。
   - 例外なくオン:この設定では、[例外]タブで選択したプログラムおよびサービスに対するすべてのリクエストを含めて、クライアントへの不要なアクセスをすべてブロックします。この設定は、クライアントを最大限保護する必要がある場合に使用します。
   - オフ（推奨しない）:Windows Firewallをオフにすると、クライアントおよびネットワークがウイルスや侵入者に対して弱くなる可能性があります。

XPeクライアントとは? | ログオン | Windows XP Embeddedのデスクトップ | プログラム | コントロールパネル | 設定ユーティリティ | システムの復元

設定ユーティリティ

ローカルドライブ

Cドライブ

Cドライブは、システムが使用します。空き容量が3MB未満の場合には、クライアントOSは動作しません。したがって、必ず十分な空き容量があることを確認してください。EWFによって、Cドライブに直接書き込みが行われるのを防いで使用可能な空き容量を維持することができます。

ファイルの保存

クライアントは、固定サイズのフラッシュメモリを使用します。したがって、クライアントではなくサーバーにファイルを保存する方が望ましい方法です。

ネットワークドライブの割り当て

管理者は、ネットワークドライブにフォルダを割り当てることができます。クライアントの再起動後も割り当て情報を維持するには、以下の支持に従ってください。

- [**ネットワークドライブの割り当て**]ダイアログボックスで[**ログオン時に再接続**]チェックボックスを選択します。
- EWF または FBWF が有効になっている場合には、変更はディスクに保存されます。

MUI（Multi-language User Interface）のインストール

MUIセットアッププログラムによって、XPeクライアントの言語を設定することができます。さらに、元の言語パックを削除して使用できる空きディスク容量を増やすこともできます。既定の言語、規格または書式を変更するには、コントロールパネルの[**地域のオプション**]を使用してください。

XPeクライアントに言語を追加するには、以下の手順を行います。
- 管理者としてログオンします。
- EWF または FBWF が有効になっている場合には、インストールを開始する前にこれらを無効にする必要があります。
- [**スタート**]をクリックし、[**ファイル名を指定して実行**]をクリックします。[名前]ボックスに[**muisetup.exe**]と入力し、[**OK**]をクリックします。インストールできる言語のリストが以下のように表示されます。
- インストールする言語を選択し、[**ファイル**]メニューから[**インストール**]をクリックします。インストールが開始されます。

[**ファイル**]メニューの[**削除**]を使用して、元の言語パックを削除することができます。

この操作では、元の言語パックのみが削除され、XPeクライアントにインストールされたコピーは削除されません。

システムの復元

概要

XPeクライアントには、深刻な問題が発生したときにバックアップされたシステムを復元するための復元機能があります。正常に動作していたOSのイメージを、USBメモリまたはPXEサーバーにバックアップすることができます。以下のような問題が発生したときに、バックアップされたイメージを復元することができます。

- システムファイルが誤って削除されたか破損したとき
- クライアントコンピュータが不安定になっている、またはデバイスドライバに問題が発生したとき
- 新しいプログラムまたはデバイスをインストールした後に問題が発生したとき
- クライアントコンピュータがウイルスに感染したとき
- **Windows XP Embeddedが起動しないとき**

システムの復元方法

- **USBメモリを使用した復元**
  以下の手順を実行すると、必要なすべてのファイルをUSBメモリに保存し、USBメモリにバックアップしたシステムを使って起動を行ってシステムを復元することができます。

- USBメモリから起動できるように、システムフォーマットを実行します。
- USBメモリに、復元されるWindows XP Embeddedのイメージとバックアップ/復元ユーティリティを保存します。
- USBメモリで起動します。
- USBメモリ内のWindows XP Embeddedイメージとバックアップ/復元ユーティリティを使用して、システムを復元します。

ネットワーク起動を使用した復元

この方法は、PXE（Preboot eXecution Environment）サーバーで行うことができます。PXEサーバーは、TCP/IP、DHCPおよびTFTPをベースにしたクライアント/サーバーインターフェイスを持っています。PXEサーバーでは、リモートからネットワーク経由でクライアント上のオペレーティングシステムの設定および起動を行うことができます。

- PXEサーバーの導入
- PXEサーバーに、復元されるWindows XP Embeddedのイメージとバックアップ/復元ユーティリティを保存します。
- ネットワーク経由で起動します。
- ネットワーク経由でPXEサーバーに保存されたWindows XP Embeddedイメージとバックアップ/復元ユーティリティを使用して、システムを復元します。

※（詳しくは、PXEサーバーのユーザーマニュアルを参照してください）

ソフトウェアの使用

モニタードライバ

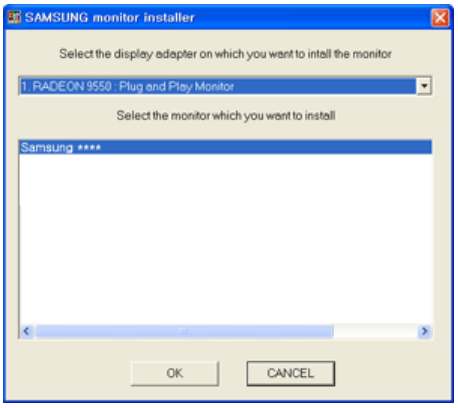
モニタードライバのインストールを促すメッセージが表示されたら、同梱のCD-ROMをコンピュータのドライブに挿入します。インストール方 法はOSによって多少異なります。お使いのOS を確認のうえ、それぞれのインストール方法に 従ってください。

下記のウェブサイトから ドライバプログラムファイルをダウンロード することもできます。ハードディスクにコピーしてご 利用ください。

インターネットウェブサイト : http://www.samsung.com/ (Worldwide)

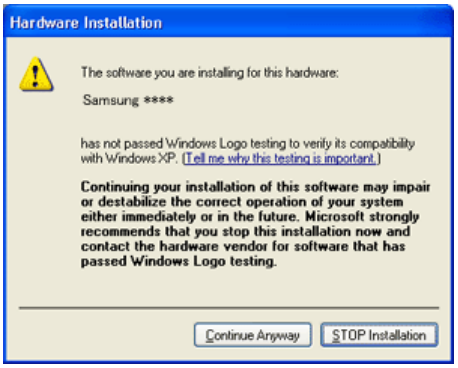
モニタードライバーのインストール (自動)

1. CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. [Windows] をクリックします。
3. モデル一覧でお使いのモニターのモデルを選択し、["OK" (OK)] をクリックします。



4.

以下のメッセージが表示される場合には、["Continue Anyway" (続行)] ボタンをクリックします。続いて ["OK" (OK)] ボタン (MicrosoftR WindowsR XP/2000 オペレーティング システム) をクリックします。


Hardware Installation
The software you are installing for this hardware:
Samsung ****
has not passed Windows Logo testing to verify its compatibility with Windows XP. (Tell me why this testing is important.)
Continuing your installation of this software may impair or destabilize the correct operation of your system either immediately or in the future. Microsoft strongly recommends that you stop this installation now and contact the hardware vendor for software that has passed Windows Logo testing.
Continue Anyway
STOP Installation

※ このモニタードライバはマイクロソフトロゴに認定されており、インストールがシステムに悪影響を与えることはありません。

認証済みのドライバはSAMSUNGのモニター製品ウェブサイトをご確認ください。

http://www.samsung.com/

モニタードライバーのインストール (手動)

Windows Vista | Windows XP | Windows 2000 | Windows ME | Windows NT

Microsoft® Windows Vista™オペレーティング システム

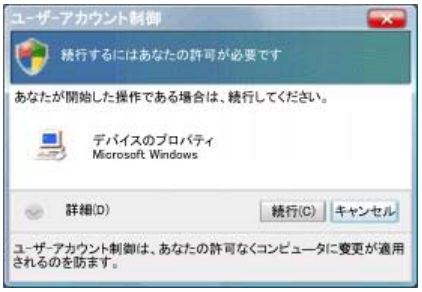
1. マニュアル CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. [ ] (スタート) をクリックし、["Control Panel" (コントロール パネル)] をクリックします。次に、["Appearance and Personalization" (デスクトップのカスタマイズ)] をダブルクリックします。

3. ["Personalization" (個人設定)]、続いて ["Display Settings" (画面の設定)] をクリックします。

4. ["Advanced Settings..." (詳細設定...)] をクリックします。

5 ["Monitor" (モニタ)] タブで ["Properties" (プロパティ)] をクリックします。["Properties" (プロパティ)] ボタンが無効になっている場合は、モニターの設定が完了していないことを示しています。そのままでも、モニターを使用することは可能です。

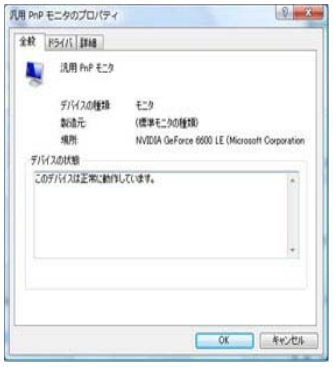
下の図に示すように ["Windows needs..." (Windowsの設定が必要です...)] というメッセージが表示された場合には、["Continue" (続行)] をクリックします。

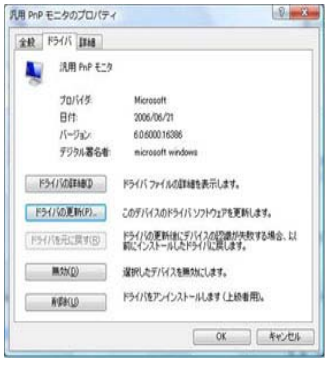


※ このモニタードライバーはMSロゴの承認を受けており、このドライバのインストールによってシステムが破損することはありません。

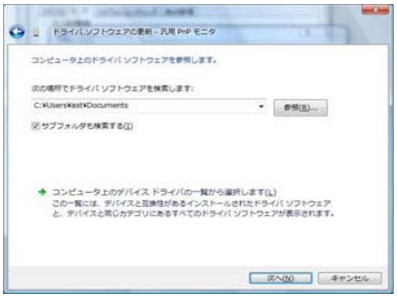
認証済みのドライバはSAMSUNGのモニター製品ウェブサイトをご確認ください。

6 ["Update Driver..." (ドライバのアップデート...)] タブで ["Driver" (ドライバ)] をクリックします。

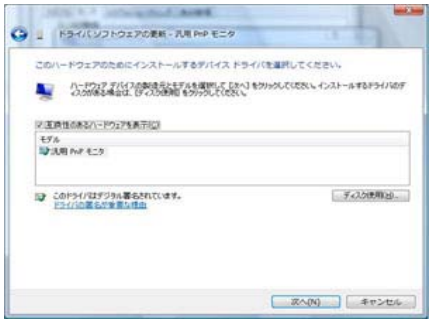
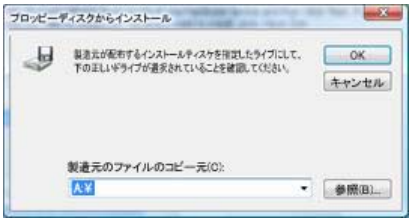




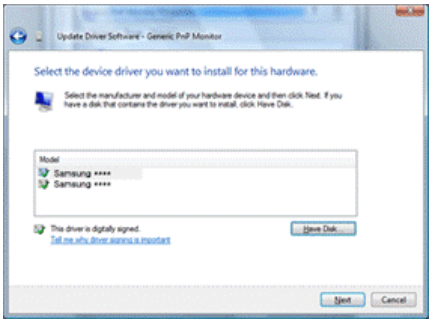
7 ["Browse my computer for driver software" (コンピュータを参照してドライバ ソフトウェアを検索します)] チェックボックスをチェックして、["Let me pick from a list of device drivers on my computer" (コンピュータ上のデバイス ドライバの一覧から選択します)] をクリックします。



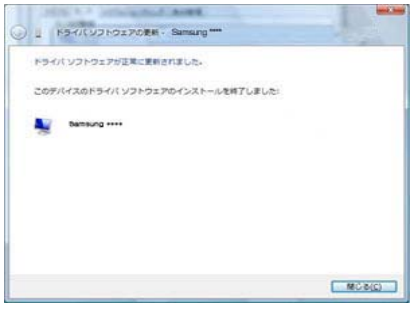
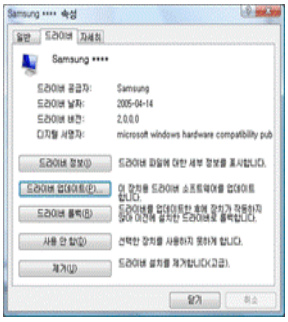
8. ["Have Disk..." (ディスク使用)] をクリックして、ドライバ セットアップファイルのあるフォルダ (たとえば D:\Drive) を選択し、[OK] をクリックします。

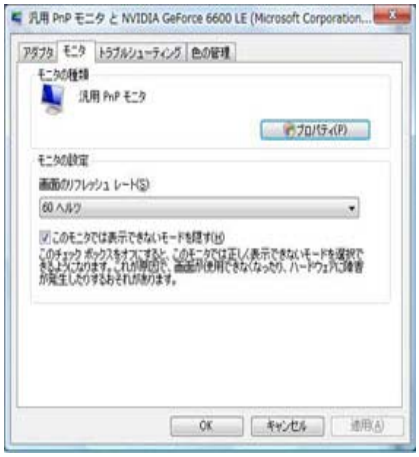



9. 画面上のリストからお使いのモニターモデルに一致するモデルを選択し、["Next" (次へ)] をクリックします。



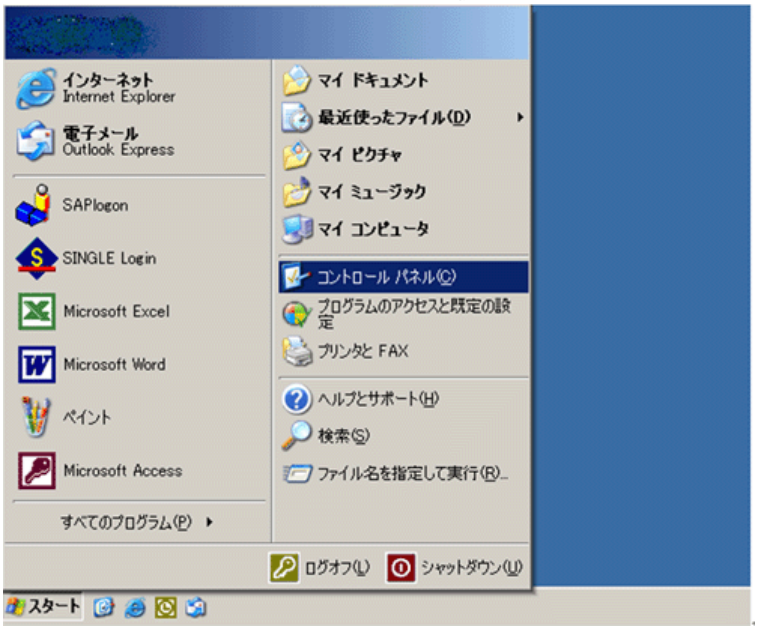
10. 続いて表示される画面で、["Close" (閉じる)] → ["Close" (閉じる)] → ["OK" (OK)] → ["OK" (OK)]] をクリックします。

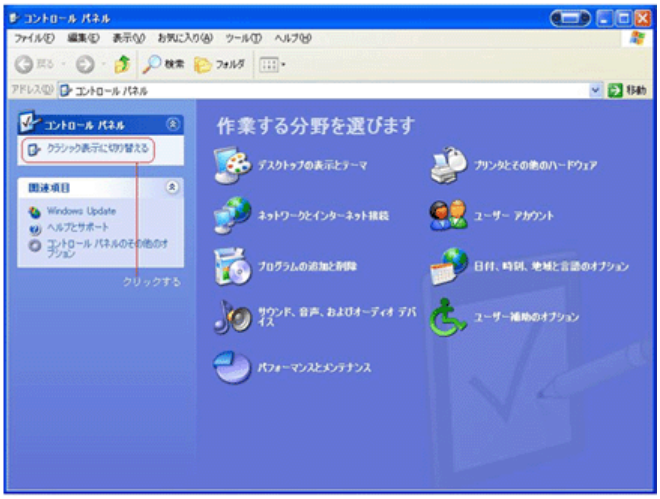


Microsoft® Windows®XP オペレーティング システム

1. CDをCD-ROMドライブに挿入し ます。
2. 〔スタート〕をクリックし、〔コントロールパネル〕を選択します。

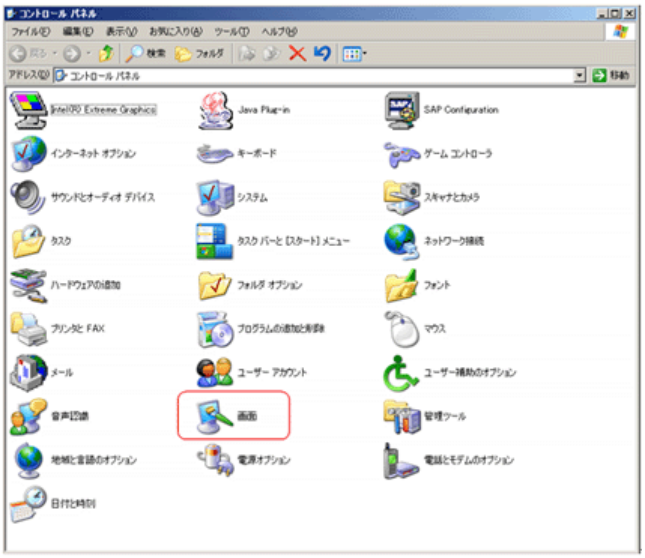


3. 〔クラシック表示に切り替える〕 をクリックし、〔画面〕のアイコンを クリックします。



4.

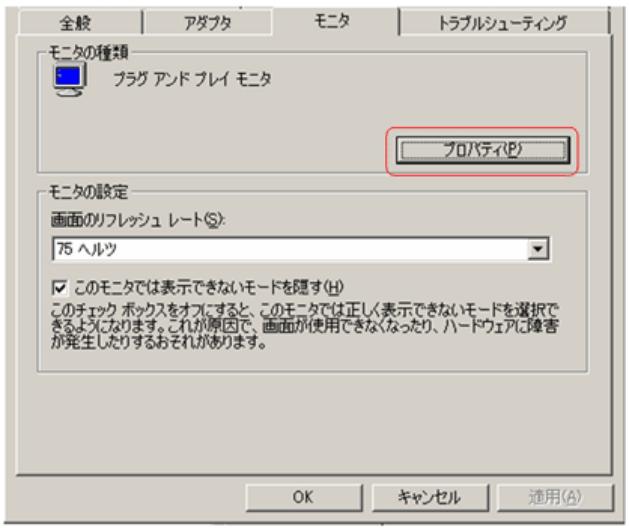
コントロールパネルの〔画面〕をダブルクリックします。

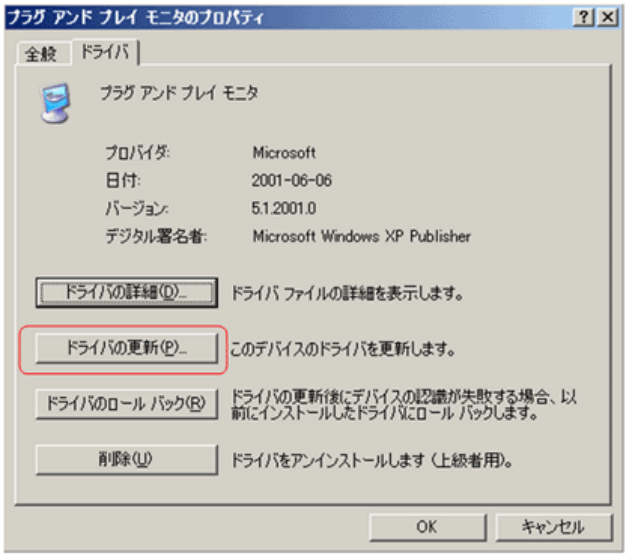


❺〔画面のプロパティ〕から〔設定〕-〔詳細設定〕を選択します。

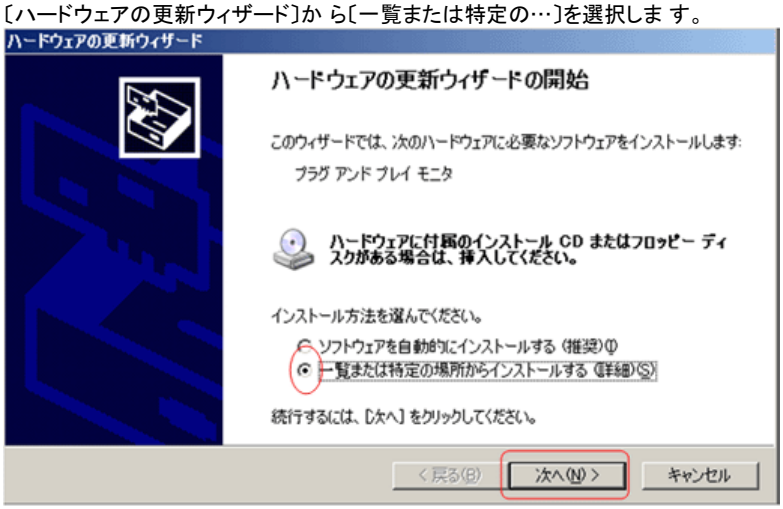
❻

タブの中から〔モニタ〕をクリックをクリック。〔プロパティ〕ボタン をクリックし、次の画面で〔ドライバ の更新〕を選択します。

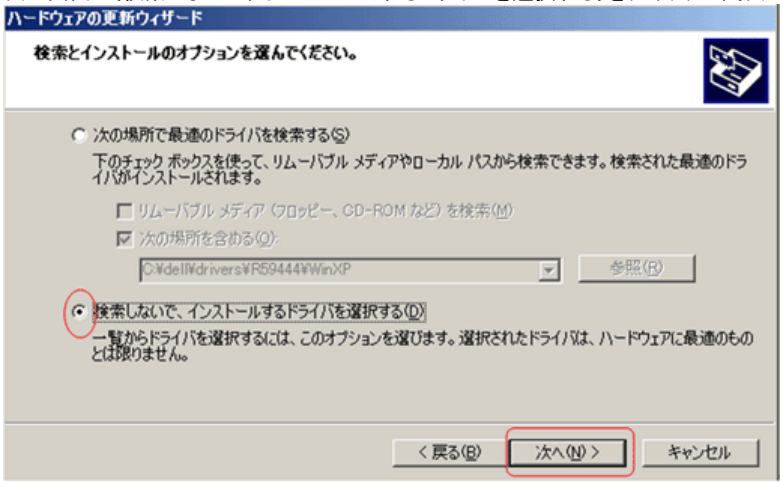




❼〔ハードウェアの更新ウィザード〕か ら〔一覧または特定の…〕を選択しま す。

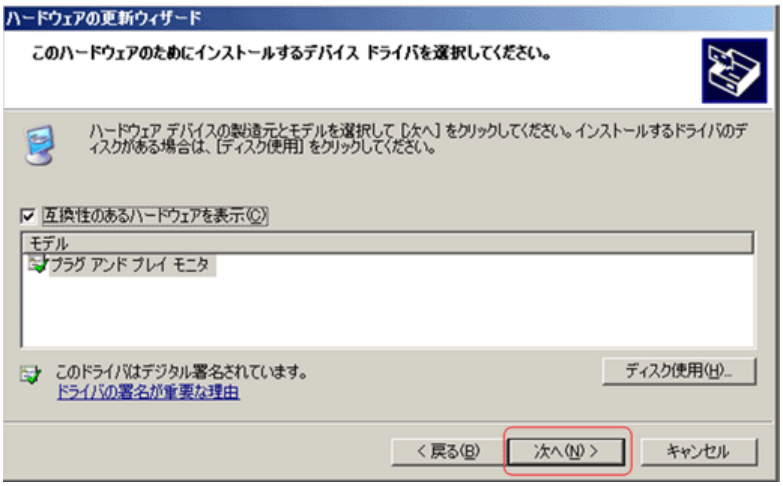


❽ 次の画面で〔検索しないで、インス トールするドライバを選択する〕をク リックし、〔次へ〕進みます。

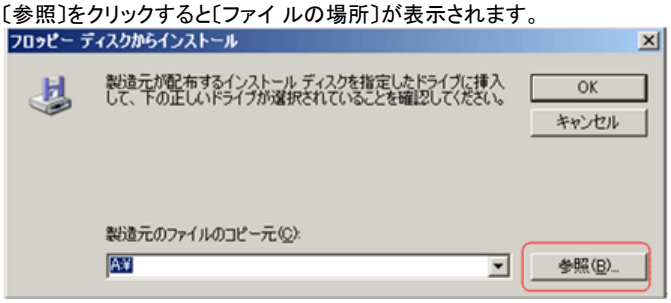


❾

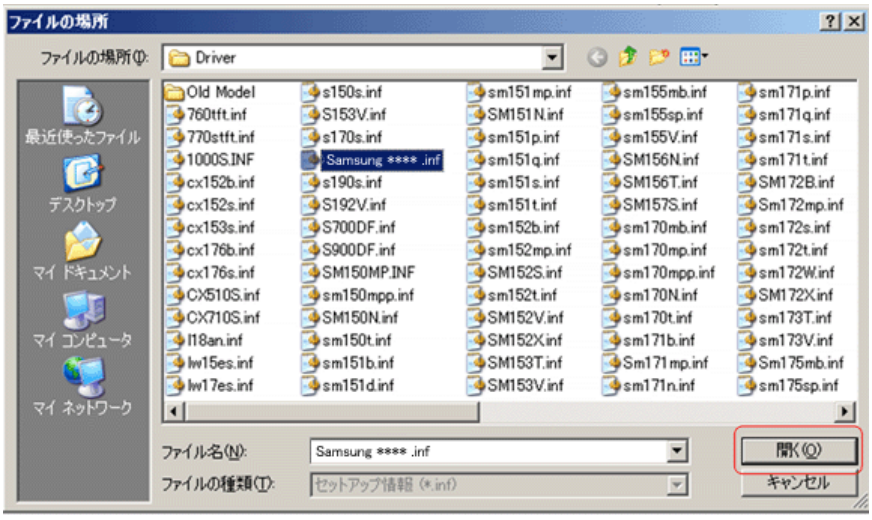
〔ディスクを使用〕をクリック します。



⑩〔参照〕をクリックすると〔ファイ ルの場所〕が表示されます。

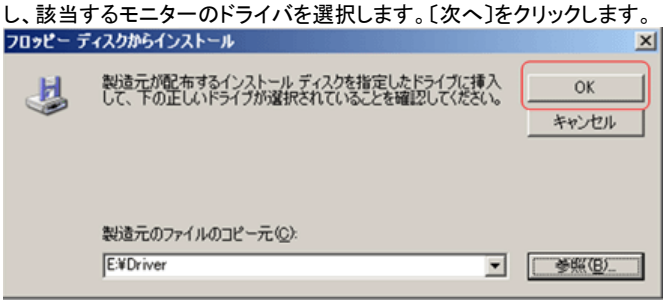


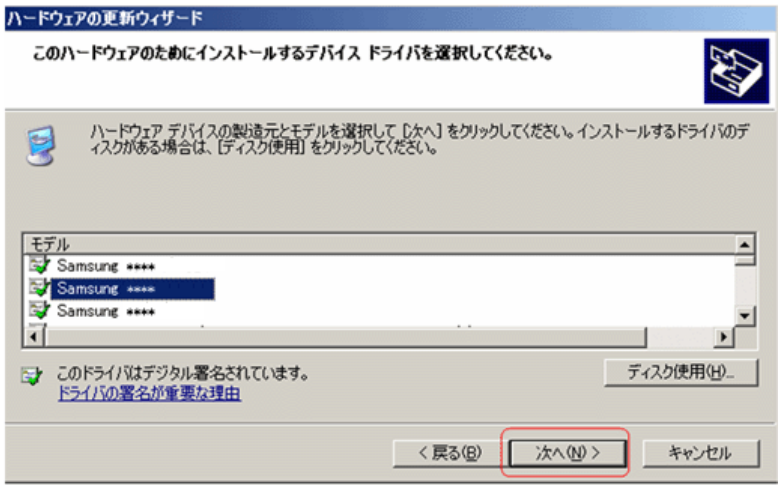
⑪〔ファイルの場所〕でCD-ROMドライブを選択し、更に〔Driver〕フォルダをダブルクリックし、〔開く〕をクリックします。



⑫

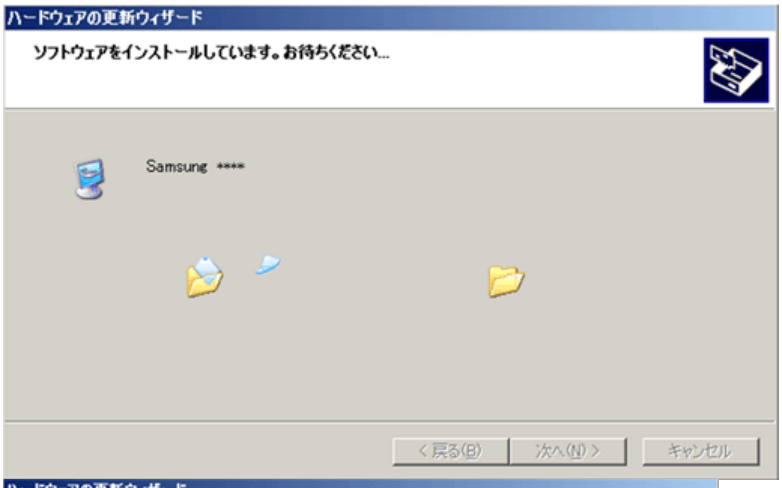
「製造元のファイルのコピー元」に選択したドライブの「Driver」フォルダ名が表示されたら〔OK〕をクリックし、該当するモニターのドライバを選択します。〔次へ〕をクリックします。

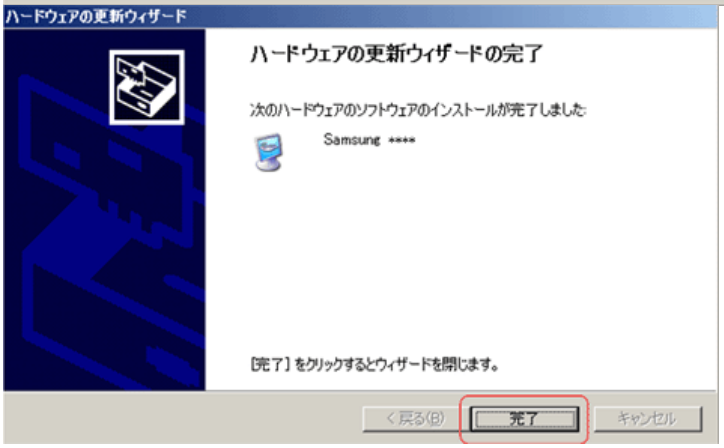




⑬

ソフトウェアをインストールする画 面から、完了画面に移ります。〔完了〕ボタンをクリックし、続けて〔閉じる〕をクリックします。





⓮ モニタードライバのインストールはこれで完了です。
※ このモニタードライバはMS logo に認定されており、インストールがシステムに悪影響を与えることはありません。
認定済ドライバは Samsungのモニター製品ウェブサイト、

http://www.samsung.com/

Microsoft® Windows®2000 オペレーティング システム

モニター上に["Digital Signature Not Found" (デジタル署名が見つかりません)] と表示された場合は、以下の手順を行います。

❶ ["Insert disk" (ディスク挿入)] ウィンドウで ["OK" (OK)] ボタンを選択します。
❷ ["File Needed" (必要なファイル)] ウィンドウで ["Browse" (参照)] ボタンをクリックします。
❸ A:(D:\Driver) を参照してから ["Open" (開く)] ボタンをクリックし、続いて ["OK" (OK)] ボタンをクリックします。

インストール方法

❶ ["Start" (スタート)]、["Setting" (設定)]、["Control Panel" (コントロール パネル)] をクリックします。
❷ ["Display" (画面)] アイコンをダブルクリックします。
❸ ["Settings" (設定)] タブを選択し、["Advanced" (詳細設定)] ボタンをクリックします。
❹ ["Monitor" (モニタ)] を選択します。

ケース 1: ["Properties" (プロパティ)] ボタンが有効でない場合には、モニターが適切に設定されていることを意味します。インストールを中止してください。
ケース 2: ["Properties" (プロパティ)] ボタンが有効になっている場合には、["Properties" (プロパティ)] ボタンをクリックして次の手順に進みます。

❺ ["Driver" (ドライバ)] をクリックし、続いて ["Update Driver..." (ドライバの更新...)] をクリックして ["Next" (次へ)] をクリックします。
❻ ["Display a list of the known drivers for this device so that I can choose a specific driver" (このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する)] を選択して ["Next" (次へ)] をクリックし、["Have disk" (ディスク使用)] をクリックします。
❼ ["Browse" (参照)] ボタンをクリックして A:(D:\Driver) を選択します。
❽ ["Open" (開く)] ボタンをクリックし、続けて ["OK" (OK)] ボタンをクリックします。
❾ お使いのモニターのモデルを選択し、["Next" (次へ)] ボタンをクリックして、さらに ["Next" (次へ)] ボタンをクリックします。
❿ ["Finish" (完了)] ボタンをクリックし、続いて ["Close" (閉じる)] ボタンをクリックします。

["Digital Signature Not Found" (デジタル署名が見つかりません)] というウィンドウが表示された場合には、["Yes" (はい)] ボタンをクリックします。["Finish" (完了)] ボタンをクリックし、続いて ["Close" (閉じる)] ボタンをクリックします。

Microsoft® Windows®Millennium オペレーティング システム

1. ["Start" (スタート)]、["Setting" (設定)]、["Control Panel" (コントロール パネル)] をクリックします。
2. ["Display" (画面)] アイコンをダブルクリックします。
3. ["Settings" (設定)] タブを選択し、["Advanced" (詳細設定)] ボタンをクリックします。
4. ["Monitor" (モニタ)] タブを選択します。
5. ["Monitor Type" (モニタ タイプ)] 領域で、["Change" (変更)] ボタンをクリックします。
6. ["Specify the location of the driver" (ドライバの場所を指定)] を選択します。
7. ["Display a list of all the driver in a specific location..." (特定の場所にあるすべてのドライバー覧を表示し、インストールドライバを選択する)] を選択し、["Next" (次へ)] ボタンをクリックします。
8. ["Have Disk" (ディスク使用)] ボタンをクリックします。
9. A:\ (D:\driver) を指定して、["OK" (OK)] ボタンをクリックします。
10. ["Show all devices" (すべてのデバイスを表示)] を選択し、コンピュータに接続されているものに対応するモニターを選択して、["OK" (OK)] をクリックします。
11. [画面のプロパティ] ダイアログボックスが閉じるまで、["Close" (閉じる)] ボタンをクリックしてから ["OK" (OK)] ボタンをクリックする操作を繰り返します。

Microsoft® Windows®NT オペレーティング システム

1. ["Start" (スタート)]、["Settings" (設定)]、["Control Panel" (コントロール パネル)] をクリックし、続いて ["Display" (画面)] アイコンをダブルクリックします。
2. [登録情報の表示] ウィンドウで、[設定] タブをクリックしてから ["All Display Modes" (すべての表示モード)] をクリックします。
3. 使用したいモード (解像度、色数および[Vertical frequency (垂直周波数)] を選択し、["OK" (OK)] をクリックします。
4. ["Apply" (適用)] ボタンをクリックし、["Test" (テスト)] をクリックして画面が正常に表示されるか確認します。画面が正常に表示されない場合には、別のモード (解像度、色数または周波数がより低いモード) に変更します。

※ [すべての表示モード] にモードが表示されない場合には、ユーザー ガイドのプリセット タイミング モードを参照して、解像度と [Vertical frequency (垂直周波数)] を選択します。

Natural Color

Natural Color ソフトウェア

コンピュータを使用する上での最近の問題に、プリンタから出力される画像やスキャナでスキャンした画像、デジタル カメラの画像の色が、モニターで見る色とは異なる、というものがあります。Natural Color ソフトウェアは、この問題を解決する優れたソリューションです。これは、Samsung Electronics が ETRI (Korea Electronics & Telecommunications Research Institute) と共同で開発した色管理システムです。このシステムは Samsung のモニター独自のもので、モニター上の画像の色を印刷またはスキャンされた画像の色と

同じにします。詳しくは、ソフトウェアプログラムのヘルプ (F1) を参照してください。

Natural Colorのインストール方法

Samsungモニター付属の CDをCD-ROMドライブに挿入します。続いて インストールの初期画面が表示されます。イン ストールを開始するには、初期画面のNatural Colorをクリックします。

プログラムを手動でインストールするには、Samsung のモニターに付属している CD を CD-ROM ドライブに挿入し、Windows の [Start (スタート)] ボタンをクリックして、次に [Run... (ファイル名を指定して実行...)] ボタンを選択します。「D:\color\NCProSetup.exe」と入力して、[Enter] キーを押します。(CD を挿入したドライブが D:\ 以外の場合には、適切なドライブ名を入力します)

Natural Color ソフトウェア プログラムの削除方法

["Start" (スタート)] メニューの ["Setting/Control Panel" (設定/コントロール パネル)] を選択し、["Add/Delete a program" (プログラムの追加と削除)] をダブルクリックします。リストから Natural Color を選択し、["Add/Delete" (変更と削除)] ボタンをクリックします。

MagicTune™

設置

1. CDをCD-ROMドライブに挿入します。
2. MagicTune™インストールファイルをクリックします。
3. インストールに使用する言語を選択して、[次へ]をクリックします。
4. Installation Shield Wizard ウィンドウが表示されたら、["Next" (次へ)] をクリックします。
5. ["I agree to the terms of the license agreement" (使用許諾契約の条件に合意する)] を選択して、使用条件を承諾します。
6. MagicTune™ プログラムをインストールするフォルダを選択します。
7. ["Install" (インストール)] をクリックします。
8. ["Installation Status" (インストールのステータス)] ウィンドウが表示されます。
9. ["Finish" (完了)] をクリックします。
10. インストールが完了すると、デスクトップに MagicTune™ の実行アイコンが表示されます。アイコンをダブルクリックして、プログラムを起動します。

アイコンをダブルクリックして、プログラムを起動します。

MagicTune™ 実行アイコンは、コンピュータ システムまたはモニターの仕様によっては表示されない場合があります。表示されない場合には、F5 キーを押してください。

インストール時のトラブル

MagicTune™ のインストールは、ビデオ カード、マザーボードおよびネットワーク環境の影響を受けます。

システム要件

OS

- Windows 2000
- Windows XP Home Edition
- Windows XP Professional
- Windows Vista™

MagicTune™ は WindowsR 2000 以降で使用することをお勧めします。

ハードウェア

- 32 MB 以上のメモリ
- 60 MB 以上のハードディスク空き容量

詳しくは、MagicTune™ の Web サイトをご覧ください。

アンインストール

MagicTune™ プログラムは、WindowsR コントロールパネルの ["Add or Remove Programs" (プログラムの追加と削除)] オプションでのみ削除することができます。

MagicTune™ を削除するには、以下の手順に従います。

1. ["Task Tray" (タスク トレイ)] → ["Start" (スタート)] → ["Settings" (設定)] に移動して、メニューから ["Control Panel (コントロール パネル)] を選択します。WindowsR XP でプログラムを使用している場合には、["Start" (スタート)] メニューの ["Control Panel" (コントロール パネル)] に移動します。
2. ["Control Panel" (コントロール パネル)]の ["Add or Remove Programs" (プログラムの追加と削除)] アイコンをクリックします。
3. ["Add or Remove Programs" (プログラムの追加と削除)] 画面で、スクロールして「MagicTune™」を探します。クリックしてハイライトします。
4. ["Change/Remove" (変更/削除)] ボタンをクリックしてプログラムを削除します。
5. ["Yes" (はい)] をクリックして、アンインストール処理を開始します。
6. ["Uninstall Complete" (アンインストール完了)] ダイアログボックスが表示されるまで待ちます。

MagicTune™ のサポート、FAQ (よくある質問) およびソフトウェアのアップグレードについては、MagicTune™ Web サイトをご覧ください。

モニターの調整

制御ボタン

1. [MENU /] OSD（On Screen Display）メニューを開きます。OSD(On Screen Display)メニューの終了または前のメニューに戻るときにも使用します。
2. [▼/▲] これらのボタンにより、メニューの項目を移動/調整します。
3. [⏎] ハイライト表示されたメニュー項目を決定にします。
4. [AUTO] ハイライト表示されたメニュー項目を決定にします。

ダイレクト機能

AUTO

メニュー	説明
AUTO	〔AUTO〕ボタンを押すと、画面に自動調整画面が表示されます。 粗調整、微調整、およびポジションの値が自動的に調整されます。 ※ (アナログ入力端子モードのみで使用可)

- 自動調整が正しく機能していない場合、AUTO(オート)ボタンをもう一回押してより正確に画像を調整します。
- コントロールパネルで解像度を変更した場合、Auto機能が実行されます。

OSDロック/ロック解除

- OSD をロックした後に AUTO ボタンを押した場合

OSD をロックした後にメニュー ボタンを押した場合

メニュー	説明
OSDロック/ ロック解除	これは、OSD をロックして現在の設定状態を維持し、他のユーザーが現在の設定を変更できないようにする機能です。 **ロック** : MENU ボタンを 5 秒以上押したままにして、OSD 調整ロック機能を有効にします。 **ロック解除** : MENU ボタンを 5 秒以上押したままにして、OSD 調整ロック機能を無効にします。 ※ OSD 調整ロック機能が有効になっていても、方向ボタンを使用して輝度、コントラストおよび カスタマイズキー (⬆) の調整は行うことができます。

カスタマイズキー

メニュー	説明
カスタマイズキー	好みに応じて、ユーザー調整ボタンをキーの割り当てをカスタマイズすることができます。 カスタマイズキーに機能を設定した場合に [ ] ボタンを押すと表示される操作画面を表示するには、各機能の名前をクリックします。 (**MagicBright** - **MagicColor** - **カラー効果**) ※ [設定] > [カスタマイズキー] から目的の機能をカスタマイズキーに設定することができます。

音量

メニュー	説明

	音量	OSD がスクリーンに表示されていない場合は、このボタンを押して [▲/] 音量を調整します。

SOURCE

メニュー	説明
SOURCE	OSDが画面に表示されていない場合は、このボタンを押してビデオ入力信号を切り換えます。(アナログ/Client)

制御ボタン　ダイレクト機能　OSD機能

OSD機能

映像	明るさ	コントラスト	MagicBright		
色調	MagicColor	色温度	色調	カラー効果	ガンマ
画質	粗調整	微調整	シャープネス	Hーポジション	Vーポジション
OSD	言語	Hーポジション	Vーポジション	透明	表示時間
設定	リセット	カスタマイズキー			
インフォメーション					

映像

メニュー	説明	プレイ/ストップ
明るさ	オンスクリーンメニューからお好みの明るさに変更できます。 MENU → ↵ → ↵ → ▲, → MENU	
コントラスト	オンスクリーンメニューからお好みのコントラストに変更できます。 (フルおよびインテリジェントのMagicColorモードでは使用できません。) MENU → ↵ → ▲, ▼ → ↵ → ▲, → MENU	
MagicBright™	MagicBright は、表示している画像の内容に合わせて最適な表示環境を提供するための新しい機能です。現在使用できる 7 つのモード: ユーザー調整 、テキスト 、インターネット 、ゲーム 、スポーツ 、映画 および ダイナミックコントラスト 。各モードには、固有の輝度値が設定されています。カスタマイズキー コントロールボタンを押すだけで、7 つの設定の中からひとつを選択することができます。 1) ユーザー調整 値は弊社エンジニアが慎重に選択していますが、事前に設定された値では快適な表示にならない場合があります。 この場合、OSD メニューを使用して輝度とコントラストを調整。 2) テキスト 文書や大量のテキストを扱う作業用です。 3) インターネット テキストとグラフのように、画像が混在するものを扱う場合のモードです。 4) ゲーム ゲームなどの動画を見るためのモードです。 5) スポーツ スポーツなどの動画を見るためのモードです。	

6) 映画

DVD やビデオ CD などの動画を見るためのモードです。

7) ダイナミック コントラスト

ダイナミック コントラスト は、入力された画像信号の分布を自動的に検出して、最適なコントラストとなるように調整します。

MENU → ↵ → ▲, ▼ → ↵ → ▲, ▼ → MENU

色調

メニュー	説明	プレイ/ストップ
	MagicColorはSamsung独自の新技術で、画質を落とすことなく天然色をより鮮明に表示し、デジタル画質を向上させます。	
MagicColor	❶ オフ　オリジナルモードに戻ります。 ❷ デモ　MagicColor適用前の画面は右のようになり、MagicColor適用後の画面は左のようになります。 ❸ フル　強い色を鮮明に表示します。 ❹ インテリジェント　強い色だけでなく、自然な肌色もより鮮やかに表示します。	
色温度	青色系、標準、赤色系、ユーザー調整の4つのモードから1つを選択し、お好みの色温度に調整します。 (フルおよびインテリジェントのMagicColorモードでは使用できません。) MENU → ▲, ▼ → ↵ → ▲, ▼ → ↵ → ▲, → MENU	
色調	R、G、Bの色を個別に調整します - 赤、緑、青 (フルおよびインテリジェントのMagicColorモードでは使用できません。) MENU → ▲, ▼ → ↵ → ▲, ▼ → ↵ → ▲, ▼ → ↵ → ▲, → MENU	

カラー効果	画面の色を変更して、全体的な雰囲気を変えることができます- オフ、グレースケール、グリーン、アクア、セピア (フルおよびインテリジェントのMagicColorモードでは使用できません。)	
	MENU →▲,▼→ ↵ →▲,▼→ ↵ →▲,→ MENU	
ガンマ	ガンマ補正は、色の輝度を中間的な輝度に変更します。 - モード1 - モード2 - モード3	
	MENU →▲,▼→ ↵ →▲,▼→ ↵ →▲,→ MENU	

画質

メニュー	説明	プレイ/ストップ
粗調整	縦縞などのノイズを除去します。 粗調整により、画面の画像領域が動く場合があります。[H-ポジション]メニューを使用して画面を中央に戻して下さい。 ※ (アナログ入力端子モードのみで使用可)	
	MENU →▲,▼→ ↵ → ↵ →▲,→ MENU	
微調整	横縞などのノイズを除去します。 微調整後もノイズが残っている場合は、周波数(クロック速度)を調整し、もう一度調整して下さい。 ※ (アナログ入力端子モードのみで使用可)	
	MENU →▲,▼→ ↵ →▲,▼→ ↵ →▲,→ MENU	
シャープネス	お好み応じて文字/画像のキレ(シャープ / ぼやかす)を調整します。 (フルおよびインテリジェントのMagicColorモードでは使用できません。)	
	MENU →▲,▼→ ↵ →▲,▼→ ↵ →▲,→ MENU	

Hーポジション	画像の位置を左右方向に調整します。 ※ (アナログ入力端子モードのみで使用可) MENU →▲,▼→ ↵ →▲,▼→ ↵ →▲,→ MENU	
Vーポジション	画像の位置を上下方向に調整します。 ※ (アナログ入力端子モードのみで使用可) MENU →▲,▼→ ↵ →▲,▼→ ↵ →▲,→ MENU	

OSD

メニュー	説明	プレイ/ストップ
言語	OSDの表示言語を変更します。 日本語・English(英語)の選択が出来ます。 ※ 言語の選択は、OSDの言語にのみ反映されます。コンピュータ上で実行されるソフトウェアには影響しません。 MENU →▲,▼→ ↵ → ↵ →▲,→ MENU	
Hーポジション	OSD(On Screen Display)メニューの位置を左右方向に調整します。 MENU →▲,▼→ ↵ →▲,▼→ ↵ →▲,→ MENU	
Vーポジション	OSD(On Screen Display)メニューの位置を上下方向に調整します。 MENU →▲,▼→ ↵ →▲,▼→ ↵ →▲,→ MENU	
透明	OSDのバックグラウンドを半透明に変更します。 MENU →▲,▼→ ↵ →▲,▼→ ↵ →▲,→ MENU	

一定時間内に調整が行われない場合、OSD(On Screen Display)メ

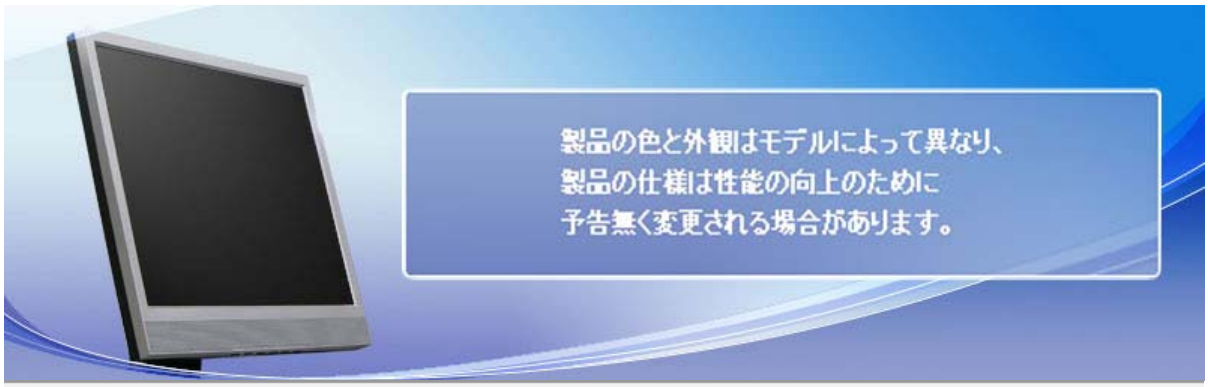
表示時間	ニューは自動的に消えます。 OSD(On Screen Display)メニューが消えるまでの待機時間を設定します。 MENU →▲,▼→ ↵ →▲,▼→ ↵ →▲,→ MENU	

設定

メニュー	説明	プレイ/ストップ
リセット	製品の設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。 MENU →▲,▼→ ↵ → ↵ →▲,→ MENU	
カスタマイズキー	カスタマイズキー (□)を押したときに起動する機能を指定することができます。 MENU →▲,▼→ ↵ →▲,▼→ ↵ →▲,→ MENU	

インフォメーション

メニュー	説明
インフォメーション	OSD画面に、表示情報を表示します。 MENU →▲,▼



トラブルシューティング

チェックリスト Q&A セルフテスト

チェックリスト

お客様相談ダイヤルへ連絡する前に、このセクションに解決法が記載されていないかご確認ください。それでも解決がで きない場合は、この取扱説明書に記載されているお客様相談ダイヤルにご連絡ください。

症状	チェックリスト	解決法
画面に何も表示されない。	電源コード は正しく接続されていますか。	電源コード を確認してください
	"信号ケーブルを確認してください"というメッセージが画面に 表示されていますか。	(D-Subケーブルを使用して接続) 信号ケーブルを確認してください。 (DVIケーブルを使用して接続) モニターが正しく接続されているにもかかわらず、画面にエラーメッセージが表示される場合は、モニターの状態がアナログになっていないか確認してください。 'SOURCE/'ボタン押すと、モニターがソースを再度確認します。
	初期画面(ログイン画面)	初期画面(ログイン画面)が表示 される場合は、コンピュータを適切なモードで 起動します(Windows ME/2000/XPではセーフ モード)。 それからビデオカード の周波数を変更してください (プリセット タイミングモードを参 照)。 初期画面(ログイン画 面)が表示されない場合、お客様相談ダイヤルまたは販売店までご連絡ください。
	"最適なモードが選択されていません" "推奨モード 1680 x 1050 60Hz"というメッセージが画面に表 示されていますか。	ビデオカードからの信号がモニター がサポートする最大解像度と周波数を上回った とき、このメッセージが表示されます。 モニター がサポートする最大 解像度と周波数に調整してください。 画面モードがSXGAあるいは垂直周波数が75Hz以上に設定されている場合、"最適なモードが選択されていません. 推奨モード 1680 x 1050 60Hz"というメッセージが表示されます。垂直周波数が85Hz以上に設定されている場合、画面は正しく動作されないで、"最適なモードが選択されていません. 推奨モード 1680 x 1050 60Hz"というメッセージが約1分間表示されたあと、画面になにも表示されない。 この間(1分)にモニター がサポートする画面モードに調整して

		ください。 (システムが再起動される場合は、このメッセージが再表示されます。)
	画面に何も表示されない モニター の電源インジケータは1秒間隔で点滅しているか。モニター の電源インジケータは1秒間隔で点滅しているか。	モニター はPowerSaverモードです。 何かキーを押すかマウスを動 かすと、モニター が再びアクティブになり画面の 表示 が戻ります。 点滅しているにもかかわらず、画像が表示されない場合は、[SOURCE/⏎]ボタンを押します。次に、再度キーボードの任意のキーを押してモニター をアクティブにし、画面に画像を表示させます。
	DVI-Dケーブ ルで接続していますか。	お使いのビ デオカードによっては、DVI-Dケーブル接続前にシステムを起動したり、システム動作中にDVI-Dケーブルを抜き差しする とブランクスクリーンになるものが あります。DVI-Dケーブルを接続してシステムを 再起動してください。
オンスクリーンディスプレイが表示されません。	[オンスクリーンディスプレイ(OSD(On Screen Display)メニュー)]が変更されないようにロックされていませんか?	[MENU / ▣] ボタンを少なくとも5秒間押して、OSD(On Screen Display)メニューのロックを解除します。
画面の色がおかしい、もしく は白黒である。	画面がセロファン紙を透したよう な単色ですか？	信号ケーブルを確認してくださ い。 ビデオカードがスロットにしっか り装着されているか確認してください。
	プログラムの実行または不正終了 によって発生したものですか？	コンピュータを再起動してくださ い。
	ビデオカードは正しく装着されて いますか？	ビデオカードの取扱説明書に従っ て正しく設定してください。
突然画面のバランスが崩れました。	ビデオカードもしくはドライバを 変更しましたか？	OSD(On Screen Display)メニューで画面のポジションとサイズ を調整してください。
	モニター の解像度または周波数を変更しましたか？	ビデオカードの解像度と周波数を 調整してください。 それからビデオカード の周波数を変更してください (プリセット タイミングモードを参 照)。
	ビデオカードの信号の周波数によっては、画面のバランスが崩れることがあります。 OSD(On Screen Display)メニューを参照して位置を再調整します。	
画面が ぼやける。	モニター の解像度または周波数を変更しましたか？	ビデオカードの解像度と周波数を 調整してください。 それからビデオカード の周波数を変更してください (プリセット タイミングモードを参 照)。
LEDは点滅しているが、画面に画像が表示されない。	OSD(On Screen Display)メニューの〔表示タイミング〕をチェックするとき、周波数は正しく調整されているか。	ビデオカードマニュアルおよびプリセットタイミングモードを参照して周波数を適切に調整してください。 (解像度に対する最大周波数は、製品ごとに異なる場合があります。)
画面が16色でしか表示されない。ビデオカードは正しく装着されて いますか。	Windowsの色は正しく設定されて いますか。	Windows XP : コントロールパネル-画面-設定で解像度を再設定します。 Windows ME/2000 : コントロールパネル-画面-設定で解像度を再設定します。
	ビデオカードは正しく装着されて いますか？	ビデオカードの取扱説明書に従っ て正しく設定してください。

"Unrecognized monitor, Plug & Play (VESA DDC) monitor found"というメッセー ジが表示される。	モニター ドライバをインストールし ましたか？	ドライバのインストールに従 っ てモニター ドライバを設定してください。
	プラグ&プレイ（VESA DDC）機能がサポートされているかどうか、ビ デオカー ドの取扱説明書を参照してください。	ドライバのインストールに従 っ てモニター ドライバを設定してください。
MagicTune™が正しく機能しない場合に確認します。	MagicTune™は、プラグアンドプレイをサポートするWindows OSを搭載したPC(VGA)でのみ機能します。	* ご利用のPCでMagicTune™が使用可能か確認するには、以下の手順に従います。(Windows XPの場合) コントロールパネル->パフォーマンスとメンテナンス->システム->ハードウェア->デバイスマネージャ->モニタ->プラグアンドプレイモニタを削除してから、ハードウェアの追加で「プラグアンドプレイモニタ」を検索します。 MagicTune™ は、モニター の追加ソフトウェアです。一部のグラフィックカードでは、お使いのモニター をサポートしていません。グラフィックカードに問題がある場合には、互換性のあるグラフィックカードについて弊社Webサイトで提供しているリストを確認してください。 http://www.samsung.com/monitor/magictune
MagicTune™ が正常に動作しません。	PC またはグラフィックカードを変更しましたか?	最新のプログラムをダウンロードしてください。プログラムは、http://www.samsung.com/monitor/magictune からダウンロードできます。
	プログラムをインストールしましたか?	初めてのときには、プログラムをインストールしてからコンピュータを再起動します。プログラムのコピーがインストールされているときは削除してコンピュータを再起動し、続いて再度プログラムをインストールします。プログラムをインストールまたは削除後に正常に動作させるには、コンピュータを再起動する必要があります。

※ MagicTune™ MACのインストールソフトウェアを弊社Webサイトからダウンロードしてください。

以下の項目をチェックしてある場合は、モニタのトラブルです。

症状	解決法
クライアントモードに切り替えたときに画面が表示されません。	起動時には、ネットワーク機能が有効になるまで約 30 秒間かかり、3～4 秒間画面が表示されなくなります。 電源をオンにした後 30 秒待って、再度モードを切り替えてみてください。 **Windows が破損しているためにオペレーティング システムが起動しないか、ブルー スクリーンが表示される場合には、このサイトから Windows XPe OS をダウンロードしてオペレーティング システムを復元してください**： http://www.syncsight.com
クライアント画面が表示されましたが、サーバーに接続できません。	1) LAN ケーブルが接続されているハブのポートの LED が点滅していないか確認してください。点滅していない場合には、LAN 接続が行われていないことを示しています。この場合、別の LAN ケーブルを使用してみてください。 2) [設定]、[ネットワーク] タブの設定が適切かどうか確認してください。デフォルトの設定は「DHCP」です。お使いのネットワークで静的な IP アドレスを使用している場合は、[以下の IP アドレスを使用] を選択してから適切な IP アドレス情報を入力します。 3) [設定] の [リモート デスクトップ] タブのユーザー名およびパスワードが、ホスト PC のユーザー名およびパスワードと一致しているかどうか確認します。一致していない場合には、[リモートデスク トップ] のユーザー名とパスワードをホスト PC のものと同じにします。
クライアント画面でインターネットに接続できません。	1) LAN ケーブルが接続されているハブのポートの LED が点滅していないか確認してください。点滅していない場合には、LAN 接続が行われていないことを示しています。この場合、別の LAN ケーブルを使用してみてください。

	2) [ネットワーク]、[設定] タブの設定が適切かどうか確認してください。デフォルトの設定は「DHCP」です。お使いのネットワークで静的な IP アドレスを使用している場合は、[以下の IP アドレスを使用] を選択してから適切な IP アドレス情報を入力します。
サーバー上のコンテンツ(動画、音声)が Client Monitor 上でなめらかに再生されません。	これは LAN 上のデータ転送の問題です。LAN の接続状態を確認してください。
デジタルカメラ、カムコーダーまたは USB メモリなどのデジタル機器を USB ポートに接続しましたが、動作しません。	このモデルでは、追加のドライバをインストールせずに USB 機器をリムーバブルディスクとして使用する機能をサポートしています。接続する機器が、追加のドライバをインストールせずにリムーバブル ディスクとして使用できる機能をサポートしているかどうかを確認してください。
ファイルリストが表示されません。	1) カード上のファイルをチェックしてください。異常なファイル (たとえば 0KByte のものや破損した JPEG) のみが存在している場合は、ファイルは画面に表示されません。 2) 表示にかかる時間はファイルのサイズによって異なります。しばらく待ってみてください。 3) ファイルのフォーマットが Client Monitor でサポートされているかどうか確認してください。ファイルの拡張子が変更されていると、ファイルは再生されません。
ファイルリストが表示されません。(「 Please Wait (お待ちください) 」と画面に引き続き表示されます。)	電源ボタンを約 4 秒間押したままにすると、電源がオフになります。

モニター に問題があるかどう か、次の項目を確認して下さい。

- 電源コードとケーブルが 正しく接続されているか。
- コンピュータ起動時にビープ音が3回以上鳴るか。
- ビデオカードを交換した か自作PCの場合、アダプタ(ビデオ)ドライバ とモニ タドライバがインストールされているか。
- ビデオ画面の走査率が 56Hz ~ 75Hzに設定されているか。
  (解像度が最大のときは75Hz を超えないようにします。)
- アダプタ(ビデオ)ドラ イバのインストール中に問題が生じた場合は、セーフ モードでコンピュータを起動してディスプレイ アダプタを削除します。再度コン ピュータを再起動し、アダプダ(ビデオ)ドラ イバを再インスト-ルします。

※ 問題が繰り返し発生する 場合は、お客様ご相 談ダイヤルにご連絡ください。

質問	回答
周波数はどのようにして変更します か?	ビデオカードを再設定することで 周波数を変更できます。 方法はビデオカードドライバのバ ージョンによって異なることがあります。(詳しくは、コンピュータまたはビデオカード の取扱説明書を参照してくださ い。
解像度はどのようにして変更しますか?	Windows XP : コントロールパネル-画面-設定で解像度を再設定します。 Windows ME/2000 : コントロールパネル-画面-設定で解像度を再設定します。 ※ 詳しくはビデオカードの製造元 にお問い合わせください。
Power Saving機能はどのように設 定しますか。	Windows XP : コントロールパネル-画面-設定で解像度を再設定します。 コンピュータのBIOS設定で機能を設定します。(Windows/コンピュータの

マニュアルを参照してください。)

Windows ME/2000 :
コントロールパネル-画面-設定で解像度を再設定します。
コンピュータのBIOS設定で機能を設定します。(Windows/コンピュータの マニュアルを参照してください。)

※ Windows/コンピュータのマニュアルを参照してください。

本体や液晶パネルはどのようにし て清掃しますか？	電源コードを抜き、クリーナーまたは 水を湿らせた柔らかい布で拭いてください。 クリーナーが残ったり、傷がつかない ように注意してください。モニター内部に水分が 入らないように注意してください。

Q & A

セルフテスト

セルフテスト機能によるチェック | 警告メッセージ | 設置環境 | その他のヒント

セルフテスト機能でモニ タが正しく動作しているかどうかチェックでき ます。

セルフテスト機能によるチェック

1. コンピュータとモニター の電源 を切ります。
2. コンピュータ背面のビデオケーブルを抜きます。
3. モニター の電源を入れます。

   モニター が正しく動作していれ ば、下図のようにカラーボックスとテキストが 表示 されます。それぞれ赤、緑、青のボックスで す。
   いずれかの表示に異常があれば、モニター が正しく動作していない可能性がありま す。

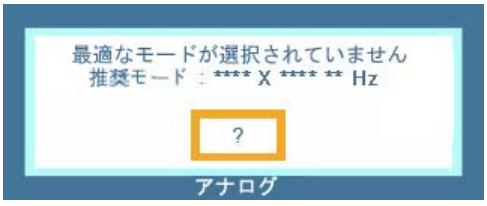
   この表示は、ビデオケーブルが未接続また は損傷している場合にも表示され ます。

4. モニターの電源を切ってビデオケーブルを再接続します。それからコンピュー タとモニターの電源を入れます。

   上記の手順を試しても画面がブランクのままのときは、ビデオコントローラおよびコンピュータシステムをチェックしてください。モニターは正し動作しています。

警告メッセージ

入力信号に問題がある場合、画面 にメッセージが表示されるか、電源インジケー タが点灯したまま画面がブランクスクリーンになります。モニターが走査範囲外であるか、信号ケーブルを確認する必要があります。



設置環境

モニターの設置場所や位置が、画質やその他の機能に影響を与えることがあります。

- ウーファスピーカーをモニターと同じ部屋に設置しないでください。
  ラジオ、扇風機、時計、電話などの電化製品はモニターから1m以上離してください。

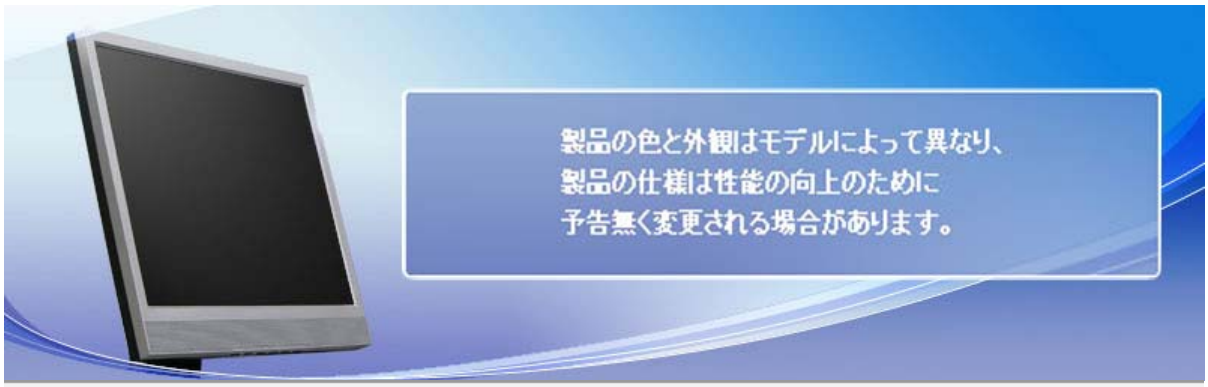
その他のヒント

モニター は、PCから送られ る映像信号を再生します。そのためPCやビデ オカードに 問題があると、モニタにブランクスクリーン、 色の劣化、ノイズ、ビデオモードの非サポートなどの現象が発生することがあり ます。モニター自身の問題であるか、その他の問題であるかを確認してから、お客様相談窓口までご連絡ください。

モニタの動作状況を診断します。

画面に何も表示されないか、"最適なモードが選択されていません", "推奨モード1280 x 1024 60 Hz"というメッセージが 表示 されたときは、モニタの電源が入っていてもコ ンピュータからケーブルを抜いて ください。

- 画面にメッセー ジが表示されるか、画面が白くなった時は、モ ニタは正しく動作しています。
- この場合、コンピュータ側に問題がないかチェックしてください。



仕様

仕様

http://www.samsung.com/jp

主な仕様

モデル名	SyncMaster 730XT
LCD パネル	
サイズ	17 " Diagonal (43 cm)
表示域サイズ	337.92 mm (H) x 270.336 mm (V)
ピクセルピッチ	0.264 mm (H) x 0.264 mm (V)
同期化	
水平	30 ~ 81 kHz
垂直	56 ~ 75 Hz
表示色	
約16.2万色	
解像度	
最適解像度	1280 x 1024@60 Hz
最大解像度	1280 x 1024@75 Hz

入力信号, Terminated

RGB アナログ、
0.7 Vp-p ± 5 %
TTL level (V high > 2.0 V, V low < 0.8 V)

最大ピクセルクロック

140 MHz

消費電力

AC 100 - 240V~(+/- 10%)、50/60Hz

信号ケーブル

ミニD-Sub15ピンケーブル 取り外し可能

寸法 (幅x奥行きx高さ) / 重量

370.0 x 342.3 x 69 mm (スタンドなし)
370.0 x 404.3 x 200 mm (スタンド付き), 6.45 Kg

VESAマウンティングインターフェイス

100 mm x 100 mm

環境条件

動作	温度: 50°F ~ 104°F (10°C ~ 40°C) 湿度: 10 % ~ 80 %, 非凝縮
保存	温度: -4°F ~ 113°F (-20°C ~ 45°C) 湿度: 5 % ~ 95 %, 非凝縮

プラグ&プレイ機能

このモニターは、プラグ&プレイ機能と互換性のあるシステムにインストールすることができます。モニターとコンピュータシステムの相互作用は、最高の操作条件とモニターの設定を提供してくれます。ユーザ ーが別の設定を選択したくなければ、ほとんどの場合、モニターのインストールは、自動的に 行われます。

基準を満たしていない

この製品には、100万分の1以上の精度を持つ先進の半導体技術で製造されたTFT液晶 パネルが使用されています。しかしまれに、赤、緑、青、白のピクセルが明るく 見えたり、黒いピクセルが発生することがあります。これは製品の不良ではありませんので安心してお使いください。

この製品のTFT液晶総ピクセル数は3,932,160です。

※ 外観や仕様は予告なく変更されることがあります。

クラス B 機器 (住宅用情報通信機器)

- この製品は、住宅地での使用に関する電磁環境適合性を満たしており、一般的な住宅地などを含むすべての地域で使用することができます。

  (クラス B の機器は、クラス A の機器より放出する電磁波が少なくなっています)

クライアント

項目	仕様
LAN	1 Gbps
USB	2.0 4ポート
インターネット ブラウザ	MS Internet Explorer
画像	JPEG,BMP
動画	MPEG1,WMV

(720p 以下)

サーバーの要件

	接続クライアント数	CPU	RAM	Ethernet	OS
最低仕様	サーバー プログラムのロードのみ	P3 400 MHz	64 Mbyte	100 Mbps	windows 2003 Server
推奨仕様	1	P4 1.0 GHz	256 Mbyte		
	2~4	P4 2.4 GHz	512 Mbyte	100 Mbps	windows 2003 Server
	5~7	P4 3.0 GHz	1 Gbyte		
	8~10	P4 3.2 GHz	2 Gbyte		

※ 上記の内容は、特定のサーバーで行ったテスト結果です。サーバーが異なると結果が異なる場合があります。一部の製品では、OS がサポートされていない場合があります。製品の購入時には、OS がサポートされているかどうかをご確認ください。

USB

ローカルデバイス(USB)接続速度

Clientモニターの起動中は、Client Office画面が表示されるまで3～4秒間画面に何も映らなくなります。

起動の途中でClientモニターをオフにすると、製品に損傷を与える場合があります。

ローカル デバイス(USB)の互換性

. HID(インターフェイス機器) キーボード、マウス

MSC(マス ストレージ クラス)、SCSI(Small Computer System Interface)コマンド セットを使用するデバイス 、FAT(File Allocation Table)システム

例外

一部のメーカーの製品では、USB規格の互換性が満たされていない場合があります。
弊社の製品は、例外を処理する機能を備えています。
ただし、一部のデバイスでは適切に動作しません。
一部のメーカーの製品では、SCSI 規格の互換性が満たされていない場合があります。
これらのデバイスは適切に動作しません。
これらのデバイスは適切に動作しません。試験によって互換性が確認されているのUSBデバイスを購入されることをお勧めします。

PowerSaver

- このモニターはPowerSaverという内蔵型電源管理システムを備えています。このシステムはモニターが一定時間使用されない場合に、モニターを低出力モードに切り替えることによってエネルギーを節約します。モニターは、ファンクション キーの電源キーが押されると自動的に通常の動作状態に戻ります。PowerSaverシステムはVESA DPMS準拠のビデオカードが搭載されているコンピュータで機能します。この機能を設定するには、コンピュータにインストールされているユーティリティソフトを利用します。

状態	通常動作	パワーセービングモード	電源オフ (電源ボタン) EPA/ENERGY 2000
電源 インジケータ	緑色	点滅	黒色

消費電力	70W 未満	4.7W 未満	2.7W 未満

このモニターは、VESA DPM 機能を備えたコンピュータで使用するときには EPA ENERGY STARR および ENERGY2000 に準拠しています。

ENERGY STARR のパートナーとして、SAMSUNG はこの製品がエネルギー効率に関する ENERGY STARR ガイドラインを満たしていることを確認しています。

この製品は、組み込みコンピュータに対する ENERGY STAR の要件に準拠しています。

プリセットタイミングモード

コンピュータから送られた信号が次のプリセットタイミングモードと一致したとき、画面が自動調整されます。信号が異なる場合は、電源LEDがオンでもブランクスクリーンになることがあります。ビデオカードの取扱説明書を参照して、次のように画面を調整してください。

プリセットタイミングモード

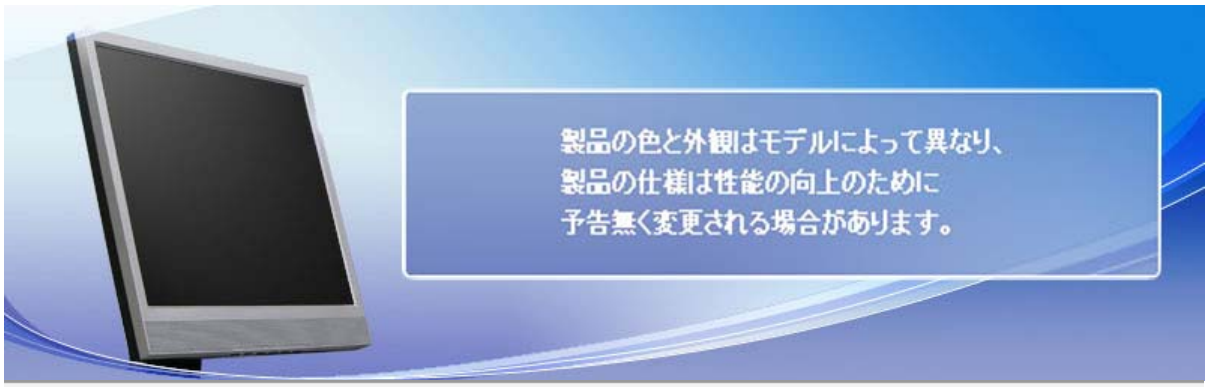
ディスプレイモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM, 640 x 350	31.469	70.086	25.175	+/-
IBM, 640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
IBM, 720 x 400	31.469	70.087	28.322	-/+
MAC, 640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
MAC, 832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
VESA, 640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-
VESA, 640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA, 800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA, 800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA, 800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA, 800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA, 1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA, 1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA, 1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA, 1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA, 1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+

水平周波数

ラインを右から左へ水平に走査する時間を水平サイクルといい、その逆数が水平周波数になります。単位：kHz

垂直周波数

蛍光灯のように、画面には1秒間に何度も同じ画像が表示されています。この繰り返しの回数が、垂直周波数もしくはリフレッシュレートと呼ばれるものです。単位：Hz



仕様

仕様

http://www.samsung.com/jp

主な仕様

モデル名	SyncMaster 930XT
LCD パネル	
サイズ	19 " Diagonal (48 cm)
表示域サイズ	376.32 mm (H) x 301.056 mm (V)
ピクセルピッチ	0.294 mm (H) x 0.294 mm (V)
同期化	
水平	30 ~ 81 kHz
垂直	56 ~ 75 Hz
表示色	
約16.7万色	
解像度	
最適解像度	1280 x 1024@60 Hz
最大解像度	1280 x 1024@75 Hz

入力信号, Terminated

RGB アナログ、
0.7 Vp-p ± 5 %
separate H/V sync, Composite,TTL level (V high > 2.0 V, V low < 0.8 V)

最大ピクセルクロック

135 MHz

消費電力

AC 100 - 240V~(+/- 10%)、50/60Hz

信号ケーブル

ミニD-Sub15ピンケーブル 取り外し可能

寸法 (幅x奥行きx高さ) / 重量

416.6 X 375.2 X 74.7 mm (スタンドなし)
416.6 X 420.9 X 200.0 mm (スタンド付き), 6.9 Kg

VESAマウンティングインターフェイス

100 mm x 100 mm

環境条件

動作	温度: 50°F ~ 104°F (10°C ~ 40°C) 湿度: 10 % ~ 80 %, 非凝縮
保存	温度: -4°F ~ 113°F (-20°C ~ 45°C) 湿度: 5 % ~ 95 %, 非凝縮

プラグ&プレイ機能

このモニターは、プラグ&プレイ機能と互換性のあるシステムにインストールすることができます。モニターとコンピュータシステムの相互作用は、最高の操作条件とモニターの設定を提供してくれます。ユーザ ーが別の設定を選択したくなければ、ほとんどの場合、モニターのインストールは、自動的に 行われます。

基準を満たしていない

この製品には、100万分の1以上の精度を持つ先進の半導体技術で製造されたTFT液晶 パネルが使用されています。しかしまれに、赤、緑、青、白のピクセルが明るく 見えたり、黒いピクセルが発生することがあります。これは製品の不良ではありませんので安心してお使いください。

この製品のTFT液晶総ピクセル数は3,932,160です。

※ 外観や仕様は予告なく変更されることがあります。

クラス B 機器 (住宅用情報通信機器)

- この製品は、住宅地での使用に関する電磁環境適合性を満たしており、一般的な住宅地などを含むすべての地域で使用することができます。

  (クラス B の機器は、クラス A の機器より放出する電磁波が少なくなっています)

クライアント

項目	仕様
LAN	1 Gbps
USB	2.0 4ポート
インターネット ブラウザ	MS Internet Explorer
画像	JPEG,BMP
動画	MPEG1,WMV

(720p 以下)

サーバーの要件

	接続クライアント数	CPU	RAM	Ethernet	OS
最低仕様	サーバー プログラムのロードのみ	P3 400 MHz	64 Mbyte	100 Mbps	windows 2003 Server
推奨仕様	1	P4 1.0 GHz	256 Mbyte		
	2~4	P4 2.4 GHz	512 Mbyte	100 Mbps	windows 2003 Server
	5~7	P4 3.0 GHz	1 Gbyte		
	8~10	P4 3.2 GHz	2 Gbyte		

※ 上記の内容は、特定のサーバーで行ったテスト結果です。サーバーが異なると結果が異なる場合があります。一部の製品では、OS がサポートされていない場合があります。製品の購入時には、OS がサポートされているかどうかをご確認ください。

USB

ローカルデバイス(USB)接続速度

Clientモニターの起動中は、Client Office画面が表示されるまで3～4秒間画面に何も映らなくなります。

起動の途中でClientモニターをオフにすると、製品に損傷を与える場合があります。

ローカル デバイス(USB)の互換性

. HID(インターフェイス機器) キーボード、マウス

MSC(マス ストレージ クラス)、SCSI(Small Computer System Interface)コマンド セットを使用するデバイス 、FAT(File Allocation Table)システム

例外

一部のメーカーの製品では、USB規格の互換性が満たされていない場合があります。
弊社の製品は、例外を処理する機能を備えています。
ただし、一部のデバイスでは適切に動作しません。
一部のメーカーの製品では、SCSI 規格の互換性が満たされていない場合があります。
これらのデバイスは適切に動作しません。
これらのデバイスは適切に動作しません。試験によって互換性が確認されているのUSBデバイスを購入されることをお勧めします。

PowerSaver

- このモニターはPowerSaverという内蔵型電源管理システムを備えています。このシステムはモニターが一定時間使用されない場合に、モニターを低出力モードに切り替えることによってエネルギーを節約します。モニターは、ファンクション キーの電源キーが押されると自動的に通常の動作状態に戻ります。PowerSaverシステムはVESA DPMS準拠のビデオカードが搭載されているコンピュータで機能します。この機能を設定するには、コンピュータにインストールされているユーティリティソフトを利用します。

状態	通常動作	パワーセービングモード	電源オフ (電源ボタン) EPA/ENERGY 2000
電源 インジケータ	緑色	点滅	黒色

消費電力	70W 未満	4.7W 未満	2.7W 未満

このモニターは、VESA DPM 機能を備えたコンピュータで使用するときには EPA ENERGY STARR および ENERGY2000 に準拠しています。

ENERGY STARR のパートナーとして、SAMSUNG はこの製品がエネルギー効率に関する ENERGY STARR ガイドラインを満たしていることを確認しています。

この製品は、組み込みコンピュータに対する ENERGY STAR の要件に準拠しています。

プリセットタイミングモード

- コンピュータから送られた信号が次のプリセットタイミングモードと一致したとき、画面が自動調整されます。信号が異なる場合は、電源LEDがオンでもブランクスクリーンになることがあります。ビデオカードの取扱説明書を参照して、次のように画面を調整してください。

プリセットタイミングモード

ディスプレイモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM, 640 x 350	31.469	70.086	25.175	+/-
IBM, 640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
IBM, 720 x 400	31.469	70.087	28.322	-/+
MAC, 640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
MAC, 832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
MAC, 1152 x 870	68.681	75.062	100.000	-/-
VESA, 640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-
VESA, 640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA, 800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA, 800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA, 800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA, 800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA, 1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA, 1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA, 1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA, 1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA, 1280 x 960	60.000	60.000	108.000	+/+

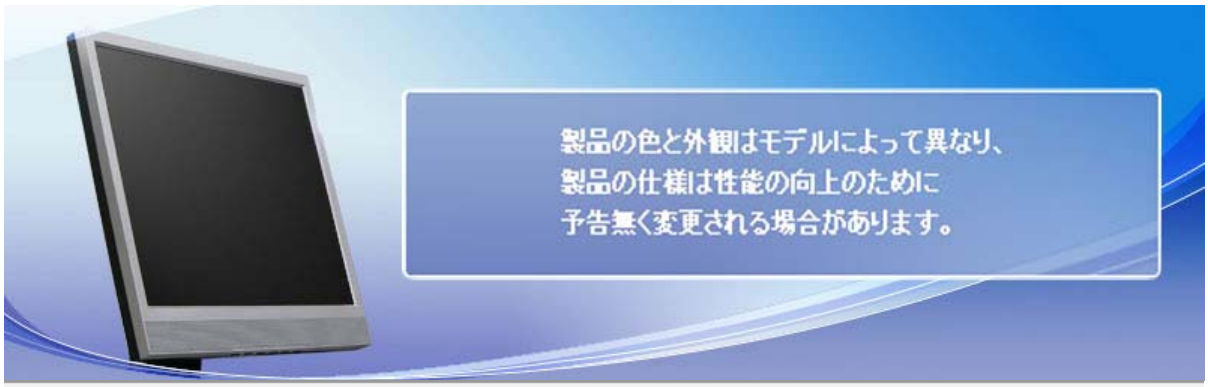
VESA, 1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA, 1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+

水平周波数

ラインを右から左へ水平に走査する時間を水平サイクルといい、その逆数が水平周波数になります。単位：kHz

垂直周波数

蛍光灯のように、画面には1秒間に何度も同じ画像が表示されています。この繰り返しの回数が、垂直周波数もしくはリフレッシュレートと呼ばれるものです。単位：Hz



情報

お客様相談ダイヤル 用語集 より良い画質を得るには 制限事項 VCCIについて

お客様相談ダイヤル

東雲サービスセンター

0120-327-527

受付時間	平日(土日祭日を除く)9:00~17:00 ※
ホームページ	http://www.samsung.com/jp/
住所	〒135-0062 東京都江東区東雲2-6-38
Fax	03-3527-5533

※ 予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

お客様相談ダイヤル 用語集 より良い画質を得るには 制限事項 VCCIについて

用語集

ドットピッチ

モニターの画像は、赤、緑および青のドットで構成されています。ドットが密なほど解像度は高くなります。同色ドット間の距離を「ドットピッチ」といいます。単位: mm

垂直周波数

画面は1秒間に何回も再描画されています。この繰り返しの回数が、垂直周波数またはリフレッシュレートと呼ばれるものです。単位: Hz

例:同じ光が 1 秒間に 60 回繰り返すときには、60 Hz となります。

水平周波数

ラインを右から左へ水平に走査する時間を水平サイクルといいます。その逆数が水平周波数になります。単位: kHz

インタレースとノンインタレース方式

ラインを上から下に順番に表示する方式をノンインタレース、奇数ラインから偶数ラインの順に表示する方式をインタレースといいます。ノンインタレース方式は画像が鮮明なため、ほとんどのモニターに採用されています。インタレース方式はTVに採用されているものと同じです。

プラグ&プレイ

- コンピュータとモニターが自動的に情報交換し、最高の画質を実現する機能です。このモニターはプラグ&プレイ機能の国際規格VESA DDCに準拠しています。

解像度

- 画面を構成する水平および垂直のドット数を「解像度」といいます。これはディスプレイの精度を表しています。高い解像度はより多くの情報が画面に表示されるため、複数作業の同時進行に適しています。

  例 :解像度が1280 x 1024の場合、画面は1280 個の水平ドット（水平解像度)と1024個の垂直ライン（垂直解像度) で構成されています。

より良い画質を得るには

- 最高の画質を得るには、コンピュータのControl Panelから解像度とリフレッシュレートを次のように調整してください。TFT液晶の設定が最適でない場合、画面にむらが出ることがあります。
  - 解像度： 1280 x 1024
  - 垂直周波数（リフレッシュレート）： 60 Hz
- この製品には、100万分の1以上の精度を持つ先進の半導体技術で製造されたTFT液晶パネルが使用されています。しかしまれに赤、緑、青、白のピクセルが明るく見えたり、黒いピクセルが発生することがあります。
  これは製品の不良ではありませんので安心してお使いください。
  - この製品のTFT液晶の総ピクセル数は3,932,160です。
- モニターを清掃するときは弊社指定のクリーナを少量使用し、乾いた柔らかい布で拭き取ります。液晶部分だけでなく、全体を丁寧に拭きます。力を入れすぎるとしみになることがあります。
- 画質に満足できないときは、ウィンドウ終了ボタンを押して表示される画面から「自動調整機能」を実行して、画質を改善することができます。
- 画像が長時間固定されると、残像やぶれが生じることがあります。長時間モニターから離れる場合は、節電モードに切り替えるかスクリーンセーバー（動画）を設定します。

制限事項

本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。

© 2008 Samsung Electronics Co., Ltd. All rights reserved.

- 内容に含まれる誤り、または設置や使用の結果として起こる損害について、Samsung Electronics Co., Ltd.は一切の責任を負いません。

  SamsungはSamsung Electronics Co., Ltd.の登録商用です。Microsoft, Windowsおよび Windows NTは、Microsoft Corporationの登録商標です。VESA、DPMおよびDDCは Video Electronics Standard Associationの登録商標です。ENERGY STARRの名称とロゴはU.S. Environmental Protection Agency (EPA)の登録商標です。SAMSUNGはENERGY STARRの一員として、この製品がエネルギー効率に関するENERGY STARRガイドラインを満たしていると判断しました。そのほかこの文書に含まれるすべての商品名は、各企業・団体の商標もしくは登録商標です。

  本製品は日本国内用として製造、販売しています。日本国外で使用された場合、当社は責任を負い兼ねます。また、技術相談や、アフターサービスなども国外では行っておりませんのでご注意ください。

  本製品は一般OA用として設計・製造されています。一般OA用以外の用途で使用される場合は、保証期間内であっても無償修理の対象外となることがありますのでご注意ください。

VCCIについて

- この装置は、情報処理装 置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基 づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用 することを目的としていますが、この装置がラ ジオやテレビジョン受信機に近接して使用され ると、受 信障害を引き起こすことがありま す。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして 下さい。

製品ユーザー登録

この度はサムスン製品をお買い上げいただき、誠にありがとう ございます。
ご購入いただきましたサムスン製品は下記のURLで製品ユーザー 登録が行えます。
登録されたユーザーの方々には、サムスンの最新ニュース、新製品情報、イベント/
キャンペーン、各種ユーザー向けプログラム、サービス情報など多彩な情報をい ち早く
お届けします。

さらにデータベースを利用した顧客管理システムにより、お買い上げいただいた製品に不具合が生じた場合などの際に、製品ユー ザー登録していただきますと迅速なアフターサービスのご提供が可能となりますので、お手数でも製品ユーザー登録をお願い申し上 げます。

製品ユーザー登録専用ホームページURL
http://www.samsung.com/jp/PRC/
＊なお、お客様の情報は弊社からのご連絡、ご案内のみにご利用させていただきます。